

PORT SAPIE

ぽるとさぴえ

函館大学広報誌 Vol.1 / 発行 函館大学広報誌編集事務局

1995.JAN
創刊号



(函館シーポート)

特集!! THE就職【就職活動奮戦記】

【VISION】大学改革

【研究】教員論究紹介

【国際化】留学生・交換教員座談会

函館大学

函館大学 広報誌編集事務局

〒042 函館市高丘町51番1号 TEL(0138)57-1181 FAX(0138)57-0298



平成7年1月から5月までの 主な日程

1月16日	冬季休業終了
1月22日	交換留学生オリエンテーション
1月31日	卒業論文提出締切り
2月 1日	第1期入学試験
2月 3日	後期授業終了
2月 4日~18日	後期末試験
2月26日	総合成績評価発表
3月11日~31日	春季休業
3月16日	第26回卒業式
3月20日	第2期入学試験
4月 1日	オリエンテーション開始
4月 3日	履修登録開始
4月10日	第31回入学式
4月18日	4年次就職個人面談開始

創刊号に寄せて

(学)野又学園理事長
野又 肇



本学園は函館大学(商学部)を筆頭に、函館短期大学(食物栄養学科)、函館医療保育専門学校(看護婦科・歯科衛生士科・保育科)、函館ソフトウェア専門学校(情報通信科・情報技術科・情報処理科・経営管理科・ホテル観光科)、函館短期大学付設調理師専門学校(調理師科・製菓衛生士科)、函館大学付属有斗高等学校、函館大学付属女子高等学校、函館短期大学付属幼稚園の八校を設置し、在校生五、三〇〇名、卒業生約四〇、〇〇〇名を擁する東北・北海道でも有数の学園であります。

創立は昭和十三年でありますから、本年五十六周年を迎えました。本学園は経営・情報・ビジネス・秘書から教育・医療・福祉そして栄養・調理・健康など幅広い教育分野を抱えており、情報化社会、国際化社会、高齢化社会に対応しうる総合学園であると確信を致しております。

さて、函館大学は昭和四十年に地域の要望に应运えて北海道で五番目の私立大学として設立され、明年、創立三十周年を迎えようとしております。施設・設備の充実のもとよりのこと、優秀で、教育熱心な教授陣の下、学園訓「報恩感謝・常識涵養・実践躬行」を建学の精神として知・情・意の円満にして高度に発達した、そして、バランスのとれた実業人の育成に努力をしているところであります。

近年、日本全国から応募する志願者も定員三〇〇名にたいし三、〇〇〇名になんなんとし、急激に質の向上を図っているところであります。また、卒業生も北海道は勿論のこと、関東、関西にも進出し、活躍しております。

これも偏に、ご支援・ご協力頂きましたご父母・同窓生・企業、そして、高等学校の進路指導の皆様のご厚情の賜物でありまして、この場をかりまして心から厚く御礼申し上げます。

この度、函館大学において、情報の発信とコミュニケーションをよく図るために広報誌を発刊した訳であります。今後、二十一世紀を担う優秀な人材の育成へ向かって大きく羽ばたいてゆきたいと考えておりますので、より一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

「ぼるとさびえ」創刊号

「ぼるとさびえ」は、ラテン語のポルトス(港や門を意味します)とサビエンティス(知恵や英知を意味します)を合成した造語です。みなさまのご支援と叱咤激励により、親しみのなかにも、大学らしい英知の香りを漂わせる誌面づくりを心がけてまいります。ありがとうございました。

誌名応募へのお礼

本誌の誌名公募に際しましては、多数のご応募をいただきまして大変にありがとうございました。

本学学生のご父母ならびに学生、本学の教職員から合計64通のご応募を受けました。

広報誌編集委員会では、①親しみ・覚えやすさ ②進歩性 ③知的・文化性 ④広報誌コンセプト表現性 ⑤エリア性等の視点で審議を厳正に重ね議論の末、標記の誌名を採択しました。「ぼるとさびえ」は、審議の過程で着想し、浮上したものです。応募作のなかからは、つぎの2点を入選作として表彰させていただきました。

●函館風便り

笹田 知宏さん(2年)

●函海誌

佐野 明俊さん(1年)

CONTENTS

- 1 創刊号によせて ●理事長 野又肇
- 2 特集！ザ・就職 大学改革ビジョン
「学長と語る、函館大学の今日・明日」
- 4 就職戦線奮闘記「私たちの就職作戦を語ろう」
ビジネスマナーABC ●大江田清志
- 6 全学あげての就職指導
就職スケジュール
企業はこんな学生を待っている！ ●株式会社伊藤園 伊藤 弘
- 8 カリキュラム改革 ●永盛恒男(教務委員長)
- 9 入試改革 ●高橋真(入試委員長)
北から。南から。出身高校紹介
正則学園高等学校／仙台育英学園高等学校
- 10 留学生・交換教員座談会
「お話ししましょう。函館のこと。函大のこと。」
派遣留学生便り
- 12 教員インタビュー「研究室から」
●本間恵美子 ●坂田聡 ●大嶋隆 ●宮崎正孝 ●清水紘史 ●上平幸好
- 14 ゼミナール紹介
マーケティング論／会計学／経営学／中小企業論
- 15 はじめまして！新任教員登場
●藤嶋曉 ●田中弘樹 ●世良耕一 ●川島孝夫
- 16 教職員プロフィール
●神田弘 ●新谷典彦 ●三浦俊和 ●坂野学 ●石崎福邦 ●稲村早苗
お元気ですか？ 思い出往来 ●和泉雄三
- 18 新刊・読書のテーブル
●溝田春夫 ●寺田隆至 ●木村美佐 ●阿部洋子
- 19 エッセイ「青春記」 ●伊藤結城夫
- 20 The Money ●飛田守(三井生命保険函館支社)
健康相談室 ●中島俊雄(中島胃腸科内科クリニック)
函館食べ歩き ●小林さとみ ●黒澤幹生
- 21 函館企業訪問(金森商船株式会社)
私の函館散歩 ●赤松潤 ●宮本正和
- 22 函大ING 思考する。発言する。行動する函館大学
- 23 公開講座
- 24 クラブ紹介
硬式野球部／卓球部／写真部／ローターアクト部
- 26 ズームインキャンパス
食堂・喫茶コーナー／書籍・大文堂
- 27 野又学園プロフィール
函館短期大学
- 28 同窓会から
函大精神は、人生の経験とともに深くなる
●高橋勝美(同窓会会長)
- 29 協学会便り
函大と父母の皆さまを結んで ●川越耕吉
投稿コーナー百葉箱

大学改革ビジョン

「学長と語る、函館大学の今日・明日」

座談会

◆酒井 純子さん



今日は、ふだんはなかなか話す機会のない、女子学生のみなさんと学長との座談会をセッティングしました。カリキュラムのことや就職のことなど、気軽に語り合っていました。

酒井／まず、学長先生のプロフィールを教えてください。

河村／昭和三十九年に中央大学の法学部の大学院を出まして、三年ほど道草を食ったりしまして、ある大手証券会社の人事部に研修生として在籍していたこともありまして。そして、函館大学の教授になったのが昭和五十三年、学長になったのは平成元年です。趣味は、囲碁、短歌、魚釣りなどですね。釣りは、もっぱら大沼で鯉をやりま

は、もっぱら大沼で鯉をやりま。もつとも、学長になってから忙しくて趣味の時間がなかなか取れないのですが。

田中／では本題、という感じで（笑）。十八歳人口が減少期に入ろうとしていて、大学が淘汰される時代が来るといわれますが、それについてはいかがですか。

河村／いきなり難しいところになりましたね（笑）。それについては、これから話す話の内容が全部、私の答えになると思います。結論だけをとりあえず言っておけば、わが大学に關しては、その心配はいらないということなの

菊池／先生の考える理想的な函大像とは？

河村／函館大学は、商科大学です。その特色をもっとも鮮明にしていきたい。在学生や卒業生の質、教員の講義や研究やカリキュラムのレベル、大学の施設などすべての面で、北日本を代表する、ナンバーワンと評価されるような大学に成長したいですね。もちろん文武両道でスポーツも強くてね。

◆田中 美佐代さん



河村／商学とは、抽象的な概念を積み上げていく種類の学問ではなく、具体的にビジネスの社会を動かしている「実学」です。実践に役立つ学問、実践に役立つ人材の育成、函大はそこに徹している大学です。例えば、日本を代表するような企業の第一線で活躍している方を講師としてお招きしている。現在は八社ですが、まだ増やす計画もあります。銀行のこと、保険のこと

◆菊池 扶美子さん



と、証券のこと、すべて、基礎的な理論をマスターしながら、実際の現場の話までも聞くこともできる。これは、理想的な商学の学び方であると自負しています。また、実力のあるユニークな先生に来てもらうために、新聞の全国版で教員を募集したりもしています。こうすると、大学の研究室しか知らないような方ではなくて、いろいろな経験をたくさん積まれた、人間的にも幅の広い方々に来ていただける。

キャンパスについて

田中／函大はクラブのとても盛んな大学ですよ。そういう意味では、グラウンドや部室がそろそろ手狭になっていると思うのですが。

河村／そうですね。いま、図書館の書庫の増築計画があつて、それと併しにそのあたりの学生サービスの拡充も練っているところ

酒井／でも、新しい施設が、私たち三年生の在学中に完成するか心配（笑）。

田中／合宿所ももう少し大きいのがほしいのです。

河村／ええ。夏休みなど、東京の大学のサークルを呼んでいっしょに活動しているクラブがありますよね。そうした有意義な活動のためには、魅力的な合宿所が必要でしょうね。



菊池／地理的なメリットもありますが、函大って、北海道の大学の中では本州方面との交流が群を抜いて多いですね。企業講師の先生には、東京や名古屋などから毎週飛行機で来る方もいらっしゃいます。

河村／豊かな自然やおおらかな暮らしといった北海道らしさを満喫しながら、知的情報や経済活動の方は、首都圏など、いえ全世界をしっかりと見定めている、というところでしょうか。もっとも、皆さんから決まて安

酒井／いま、女子大生の就職がすごく厳しいですね。そのあたりはどうお考えでしょうか。

河村／現在、私たちが最も力を入れていることが、就職指導だといえるでしょう。文字どおり、全学あげて、という表現がふさわし

就職について

◆田中 美佐代さん

田中／函大生への注文やアドバイスがありますか。

河村／皆さんはあまり意識したことがないかもしれませんが、本学にはすばらしい学園訓があります。これは、全部で八つの学校からなる野又学園全体を束ねるものです。が、その最初には「報恩感謝」とあります。つまり、大学生として、明るく前向きに生きて、一生懸命学問やスポーツに打ち込み、ひ

とまわりもふたまわりも大きくなって卒業したら、今度はそれを社会にご恩をお返しする、ということ。そして、実践の中で学生時代に学んだことをさらに磨いていく。逆に言えば、感謝と報恩の精神で、今の自分、明日の自分にいったい何がでるのかを考えると、そうすると、学生時代に何をしなければならぬかが、おのずからわかってくるにちがいない。また、野又学園は全体で何万人もの卒業生がいます。このパワーたるや、たんへんなものがあります。皆さんも野又学園の一員なんだという意識をもってください。将来にきつと役立つにちがいない

田中／はい。これからは、学園訓をちゃんと考えてみます。

河村／今日はいろいろ厳しい注文もいただきました。それは私の宿題ということにさせてもらいます（笑）。

酒井／田中、菊池／お忙しいところ、どうもありがとうございました。

河村／また遊びにくてください（笑）。紅茶やコーヒーを飲むつもりで気軽においでください。

◆河村 博昌学長



「私たちの就職作戦を語ろう」

座談会
【就職戦線奮闘記】



横内 仁さん
(商学会計コース・神奈川県・横須賀学院高校出身)

伊藤 佳彦さん
(商学会計コース・秋田県・秋田県立大館鳳鳴高校出身)

齊藤 章子さん
(国際英文秘書コース・茨城県・波崎柳川高校出身)

●司会 丸山 真理子 (就職部)



●齊藤 章子さん

ときも、逆にこちらが面接官の力や性格をみてやろう、というくらいの気持ちでした。面接がはじまる前、まわりの学生とおしゃべりしておくのもいいようです。そこで面接室に呼ばれても、それまでの調子でスムーズに話しかける。緊張でガチガチのまま面接がはじまるのはおちがいです。こちら一人に面接官が五人、なんていうこともありましたが、

司会／業界の研究はどうしましたか。

齊藤／やはり本が中心ですね。いろいろ出ていますから。あと、生の声を聞くためのOB訪問。行きたい会社にはOBがいなくても、ライバル企業にいれば話を聞きにいつつやう。めざす企業の業界でのポジションや評判がわかります。

横内／会社四季報や日経新聞。それから就職誌。日経アドレは必読ですね。

伊藤／ただ、業界の知識をアピールするだけではダメですね。大切なのは、それらと大学で自分が学んできたことをきちんと結びこ。やはり付け焼き刃の知識は簡単に見破られます。私の場合、最後に本店で一日四回、というすさまじい面接があったのです。とにかく根掘り葉掘りの質問攻撃ですよ(笑)。

司会／そうした場合とくに、大学で何を学び何を学んだか、という点が重要ですね。学業をほおっておいて就職の勉強だけをして本末転倒。

齊藤／就職のマニュアル本には、成績はカバーできると書いてあるものもありますが、やはり企業側の大きな判断材料になると感じました。それと、ちよつと変わった話題が

就職活動の収支

るといいようです。私は小学校のとき一輪車に夢中だったのですけれど、その話をしたら話がはずんで、そのあとのコミュニケーションがうまくいきました。

司会／皆さんのどのくらいの出費があったのでしょうか。

伊藤／服装で買ったのは、スーツを一着(三年の夏のバレーで買ったおききました)、ワイシャツを六枚、ネクタイを三本、ハンカチ、ソックス、革のクラッチバッグ。これで十万円くらい。書籍関係で二万円前後。交通費が、函館と秋田の実家の往復、実家からあちこちへJRと、結構かかりましたね。

齊藤／私の場合、交通費は結構かかりました(笑)。東京と函館の往復だけで、スカイメイトを使って二十万円くらい。面接を受けて次の指示がでるまでに二週間くらいあいてしまうケースが多くてそうするのとあえず大学に帰らなければなりませんから。

横内／ぼくの場合、服装や本代は伊藤君と同じくらいですね。それにしても、この夏の猛暑の中では、馴れないスーツがきつかったです(笑)。

司会／では最後に、後輩へのアドバイス。

横内／あまり最初から業界を絞らない方がいいと思います。いろんな業界のセミナーをのぞいてみるうちに、自分に向いている世界が見えてくる場合があるんです。やはり足や体験でかきだした情報を大切にしないといけません。

齊藤／それと、業界セミナーだけじゃダメ。やっぱり会社訪問がスタートです。そして、函館大学名物(?)の、先生方の強力なサポートを活用すること。私の場合も、ゼミの先生とのホウレンソウ(報告・連絡・相談)を欠かさなかったことが勝因です。先生があとで、実はあのとき人事部の○○さんは電話で話しておいたんだよ、なんてさりとおっしゃられて、こちらが驚いてしまうこともあります。

ビジネスマナーABC

助教授
大江田 清志



ビジネス・マナーは、文化的背景の異なる企業や企業人どうしの出会いを可能にする第2の共通・ランゲージのようなものです。ビジネスの世界においては、ビジネス・マナーを欠く人々との出会いは考えられません。仮に出会ったとしても、出会いの目的が両者の間で達成されることはないのです。

仕事ができると信頼される人は、一様にビジネス・マナーにも長けた人であるといえます。あなたがたが、会社に入ってもまず覚えなければならない仕事のかなりは、実は各種のビジネス・マナーに関する事柄なのです。

ビジネスの世界では、習得知識を行動に移転することが何よりも要求されます。まず習うよりも慣れるという姿勢で取り組むことが期待されるのです。

これから、何度かに分けてビジネス・マナーについて紹介する予定です。今回は「ほうれんそう」の重要性を指摘します。

●「ほうれんそう」の重要性

「ほうれんそう」の語源は、報告・連絡・相談です。「ほうれんそうが会社を強くする」の著者で知られる山崎富治氏は、ほうれんそうの「ほう」が抜けると連想、「れん」が抜けると放送、そして「そう」が抜けると法連となるとし、連想と一方通行型の意思伝達やお題目ばかり唱えられ実行が伴わない組織運営を戒めています。

あたえられた任務に対する報告を確実にし、関係者に対する連絡と連携を密にし、ものごとを判断し行動する際に必要な話し合い、助言を求めることは、組織人としての基本であるといわれています。

会社に入り周囲の人から信頼を得る近道は、まず「ほうれんそう」を的確に行うことです。当たり前のことを当たり前のこととして行動できる人は、実はきわめて魅力的な人として社会から評価されるのです。

伊藤／先生や就職部からのきめ細かな情報は大切ですね。その辺は、函館大学のようにまとまりの強い大学の大きなメリットだと思います。

齊藤／就職関係の本は、やはりきちんと読んでおいた方がいいと思います。敬語の使い方とか一般常識とか、自分が間違っておぼえてしまっていることって、結構あるんですよ(笑)。

横内／東京の大学に行っている友人に、函館大学の就職指導のことを話したら、驚いてうらやましがられました。あとは、自分が早く一人前になって、続く後輩の力になりたいですね。自分が函館大学とのパイプを作りたいという意気込みががんばります。

司会／本日はどうもありがとうございました。皆さんの春からの活躍をお祈りします。



●横内 仁さん

横内／まずよくわからないまま資料請求を出し始めたのが二月くらい。三月に就職情報誌が揃ってきたので、食品関係や知名度のある会社に資料請求ハガキを四月半ばまでに二百通くらい出しました。もどってきたのは半分以上いかな。三月末から業界セミナーに出て、実際に会社訪問(東京ですが)を始めたのは遅くて、六月ですね。函館大学の業界研究会には出ましたよ、当然。函館大学の学生に興味をもってくださる企業がわかりますから。

齊藤／四月から資料請求ハガキを書いて、

司会／皆さん就職活動はいつ頃からどのようにはじめましたか。

横内／神奈川県横須賀市出身です。米軍基地のとなりで育ちました。内定先は、東証一部上場の農機具メーカー「丸山製作所」という会社です。東京神田に本社があります。

齊藤／茨城県出身です。中学・高校とバレーボール部、函館大学では、ハンドボール部のマネージャーです。内定先は、勸業証券です。

伊藤／秋田県出身です。中学・高校と図書委員、函館大学では簿記研究会に所属しました。日本銀行の東北地域特定職として内定をいただきました。

司会／皆さん就職活動はいつ頃からどのようにはじめましたか。

ズバリ、面接突破の秘訣は

司会／予想もしなかったできごとや困ったことはありましたか?

伊藤／面接では徹底して細かなところを聞かれましたねえ。ゼミナールの内容や卒業論文、クラブ活動のことなど。この資産はどう評価しますか、なんていう問題用紙をいきなり出されたり。それからいわゆる圧迫面接というやつ。イヤな上司がいたらどうする?とか。とにかくくめげずに頑張ります、なんて言っても、「頑張りなさい」と言われてた(笑)。

齊藤／女子だけの障害でしようけれど自宅通勤できる人以外は選考の対象にもならないという企業が多いんです。面接までたどり着くまでがたいへん。

横内／ぼくの場合は、そんなに戸惑ったりしませんでした。いつ誰とでも話ができるトクな性格のおかげでしょうか(笑)。面接の



●伊藤 佳彦さん

全学上げての就職指導

「函大卒は、まだ何色にも染まっていないタイプが多い。そのぶん、入社二、三年目ごろから味がでくる人材が多いですね」。企業の採用担当者の方から、よくそんな声をいただきます。いうまでもなく、就職戦線はまだまだ冬の時代に入つたままであり、企業が学生を見る目には、さらに厳しいものがあります。採用数をぎりぎりまで絞らなければならぬ経営状況の中で、一人の学生の資質を正確に見極めようとする姿勢には、今日のビジネスの厳しさと戦略そのものが表れていると言えるでしょう。そうした中で私たちは、北海道の地で学んだ若者らしい大らかで純真な人間性の上に、商学の専門知識をしっかりと身につけた人材を、広く全国にアピールしていきたいと思っています。

手作りの指導をモットーに

本学の就職指導の基本は、学生、就職部、教員が文字どおり一体となって取り組む分厚い連携と行動力にあります。中でも特筆されるのは、教職員による企業訪問です。これは、ゼミナール担当教員やクラブ顧問などが中心になり、それぞれにエリアの担当を決め、十二月から三月にかけておよそ四五〇社を訪ね、函大生の存在と実力をアピールするもの。エリアは、函館市内は勿論、札幌、東北、東京、横浜、名古屋、大阪、神戸と八プロックに分かれます。学生と教職員との親密な関係の上に成り立つこうした活動は、まとまりのよい本学の校風を各企業に訴求することにもなり、また、これら企業訪問によって集められた価値ある情報は、就職部やゼミナールを通していち早く学生にフィードバックされています。

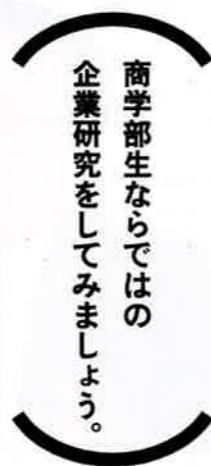
さらに、「実学」に徹した函大の特長ともなっている第一線の企業人による講義のほかに、就職ガイダンスでは企業の経営者や採用担当者の方に多数ご来校いただき、ビジネスの現場の声を広く吸収しています。



就職課長
大山 紀明



就職部長
上平 幸好



一人一人が主体性をもって就職活動をしてほしいのですが、資本金の大きい企業や有名企業ばかりに目を向けてしまう学生が多いですね。これを否定はしませんが、自分を見失わないようにしてください。大切なのは、氾濫するマスコミの情報に流されず、自分が納得できる情報を自分なりにどう集めて整理していくか、自分なりの尺度をもつこと。自分の力量や性格が大きな組織に向いているかどうかを客観視すること。そのためには、経済関係の新聞や雑誌の記事は必ず読んでください。経済は昨日と今日ではちがう生き物です。つき合い程度で二、三日読んだところで、相手はビジネススマン。間近になって読んでも間に合いません！社会人としての目をもって、経済を流れてうまくとらえてほしいものです。

資本金の大きい企業や有名企業といっても、実際にはどんな企業かわからないまま活動している学生が多いようです。面接のときなど、表面上だけで会社案内を暗記してしまう。もっとクールに企業を分析して、企業を知り抜いてください！企業を知ること、みなさんが勉強しているマーケティングの考え方と同じですよ。企業に自分を売りこむためには、自分なみにで勝負するのか、自分自身を冷静に分析し、聞く耳をもつことです。そして、決定的な条件は、実は簡単な挨拶が自然にできるかどうかということ。電話の応対やハガキ、面接が終わった後の態度、服装、細かいところまで見られていることを心得てください。毎日、この会社に入りた！と願って、現実にしてください。

●企業はこんな学生を待っている！

株式会社伊藤園
人事部長
伊藤 弘さん



●就職講座

本学では就職指導の一環として、3年次を主対象に企業の第一線で活躍されている役職者の方に「就職講演」をお願いし、学生の就職意識の向上や企業観の養成に努めております。

●平成5年度			
演 題	講 演 者		講演月日
「就職活動にあたって今からできること」	㈱日本交通公社	採用課長 長谷川 和 芳氏	10月4日
「人事部の採用の見方」	㈱伊藤園	人事部長 伊藤 弘氏	11月15日
●平成4年度			
「新しい時代の大器の条件」	AIU保険会社	取締役社長 得 平 文 雄氏	6月29日
「頼りかのあるビジネスマン」	東洋信託銀行㈱	取締役副社長 磯 村 元 史氏	10月12日
「男は仕事と女で磨かれる」	㈱ホテルオークラ	専務取締役 橋 本 保 雄氏	11月16日
●平成3年度			
「心の経営」	㈱日平トヤマ	取締役会長 松 本 勝 周氏	10月14日
「企業経営の要諦」	㈱サッポロライオン	取締役社長 石 川 利 一氏	10月28日
「私の北海道」	日本製粉㈱	取締役会長 香 木 正 雄氏	11月18日
「学生から社会人へ」	㈱ライフコーポレーション	取締役社長 清 水 信 次氏	11月25日

平成6年度就職スケジュール

4	●4年次就職ガイダンス ●4年次就職個人面談 ●4年次就職希望企業調査	8	●採用選考開始 ●企業訪問開始	12	●次年度採用情報収集 ●就職ニュース発送
5	●4年次就職個人面談 ●業界研究会、就職懇談会(函館) ●求人申込書・就職要覧等発送	9	●就職活動状況調査	1	●次年度採用情報収集 ●3年次就職ガイダンス
6	●就職活動状況調査	10	●3年次就職ガイダンス ●3年次就職講座 ●3年次就職個人面談 ●3年次就職希望企業調査 ●採用内定開始	2	●次年度採用情報収集 ●就職懇談会(東京・大阪)
7	●求人票公開 ●就職ニュース発送 ●就職活動状況調査	11	●3年次就職ガイダンス ●3年次就職講座 ●3年次就職個人面談	3	●次年度採用情報収集

改革

教務委員長 永盛 恒男

いま、函館大学では21世紀を見据えたカリキュラム改革が進行中である。これは、政治経済の枠組みが大きな変革をとげようとしている今日にあって、われわれが、これからの日本や世界の進路をとらえながら、大学教育に何ができるか、高等教育は何を目指すべきか、といった問題群に対して出した回答のひとつであるといえるだろう。以下、この改革について具体的に説明してみたい。

◆ 早期専門教育

現在のところ、改革の柱は大きく三つに分けられる。ひとつめは、早期専門教育の実施である。これは、ともすれば高等学校の授業の延長となりかねない「教養科目」ばかりで一、二年生の諸君をしぼることを避け、早い時期から専門科目の面白さや意義にふれてもらおうとするものである。商学のカレッジとしての専門性をさらに深めて、各分野のスペシャリストを効果的に育成していきたい。「専門」といつても、それは決して閉じた世界ではない。自分が選んだ専門の水脈を掘り進むことによって、やがて他のさまざまな専門分野と出会うであろう。そこからまた、大きな視野と見識を手に入れることができると、強調したい。



◆ 体育のシーズン制

ふたつめは、体育科目である。われわれは、大学における体育には、「楽しさ」や「健康」という切り口も必要ではないかと考える。ここが、「成績」や「順位」や「評価」を軸とする高校までの体育との大きな差異となる。まず、夏季のゴルフ、冬季のスキーをシーズン授業として取り入れた。これらは、それぞれ五日間の集中実技を受けるだけで単位が付与される。社会的にも人気の高いスポーツを、学生時代に基礎からコーチされることは、卒業後の捨てがたい財産にもなるであろう。将来的には、これらに他の種目も積極的に加えていきたい。

◆ 語学授業（英語）の強化

みつめは、英語教育である。いうまでもなく、英語は、もはや英文学を専攻する学生だけのものではない。社会のあらゆる局面で国際化がさらに進捗していくであろう近い将来、英語はビジネスのコミュニケーションのツールのひとつに近づくであろう。こうした潮流に対応するために、われわれは、今年度の一年次生から「能力別適性クラス編成」を敷いた。これは、一人一人の英語力の差異によって全体としての授業の進路や速度を犠牲としないために、能力別のグループを作り、より効果的な指導にあたらうとするものである。加えて、専任の教員を増員してこれに当てることとした。これにより、「英語に強い函大生」という評価をいただけるよう、一層の努力を重ねていきたい。

◆ より満足度の高い大学へ

これらをもって函大のカリキュラム改革が終わるわけではない。今後は、社会の動向に柔軟に対応しながら、科目の統合・新設、時間割の変更、科目名称の変更なども、学内外の幅広い声を取り入れながら、積極的に検討していきたい。われわれの特徴ともなっている企業講師による講義も、さらに拡充されるだろう。めざすのは、学生諸君の「満足度」のさらなるアップである。



(入試改革)

入試委員長 高橋 真



本学では、多様化する受験状況に対応する目的で、平成7年度入試から入試制度の一部を改正することになりました。

①推薦入試における自己推薦書評価制度の新設

下記①～③の各項のいずれかに該当する場合は【自己推薦書】(大学所定の用紙)を提出できます。

- ①社会的貢献度が高く、一般の人々に感銘を与え得るような奉仕活動あるいは善行
〈例〉地域ボランティア活動、人命救助、世界旅行など
- ②課外活動等業績評価制度の評価対象にならない文化芸術活動および諸資格
〈例〉コンサート出場、囲碁・将棋の段位など
- ③課外活動等業績評価制度の評価対象に含まれるが、特別強調したい活動内容
〈例〉部活のマネージャーを通して得た感動的な経験など

提出ある志願者に限り【自己推薦書】の内容に応じてポイント(0.2を上限)を付加し、評定平均値・課外活動等業績評価ポイント・面接ポイントの合計に加算して合否判定の資料とします。

この【自己推薦書】は出身学校長の証明は不要ですが、活動内容を証明する書類等があれば添付してください。また、記載する内容については、高校在学中のものに限定しません。

②推薦入試における大阪入試会場の新設

従来の函館、札幌、東京に加えて、大阪でも推薦試験を受験できるようになりました。

③課外活動等業績評価対象の拡大

従来の課外活動等業績評価対象となる検定試験合格者に加えて、下記の①～③の検定試験合格者にも段階に応じポイントが加算されることになりました。

- ①TOEFL
500点以上/0.5 470点以上/0.4 450点以上/0.3 430点以上/0.2
- ②秘書検定試験(実務・全経)
1級/0.5 2級/0.3 3級/0.2
- ③ワープロ検定試験(日商・全商)
1級/0.5 2級/0.3 3級/0.2

これらのポイントは一般試験を受験する際にも適用できますので、忘れずに申請してください。

④「特別奨学生選考試験」の第1期入学試験への繰入れ

従来、独立した入試区分であった特別奨学生選考試験を第1期入学試験へ繰入れることにしました。

●特別奨学生の選考

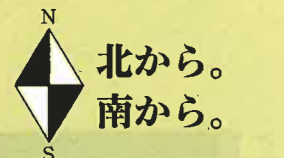
- ①募集人員 10名
- ②選考方法 第1期入学試験における試験成績上位者の中から選考します。特別奨学生の候補者に対しては別途案内し、本学にて面接を致します。この場合の交通費・宿泊費は本学が負担します。
- ③特典 特別奨学生に対しては、入学から卒業までの学費(入学金・授業料)を奨学金として給付します。ただし、本学の規定により特別奨学生の特典を取り消す場合があります。

⑤第2期入学試験の試験科目の変更

第2期入学試験では、従来の試験科目を「国語」「英語」の2教科必修から、下記の科目からの2教科選択に変更することになりました。

教科	「出題科目」(出題範囲)	配点	試験時間
国語	「国語」国語Ⅰ・Ⅱ〈古文・漢文を除く〉	各100点	10:00～11:40
英語	「英語」(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB・ⅡC)		
数学	「数学」(数学Ⅰ・代数幾何・基礎解析)		
商業	「簿記会計」(簿記会計Ⅰ・Ⅱ)		
社会	「日本史」「世界史」「政治・経済」		
注 社会教科内での2科目受験はできません。			

受験生は試験当日、問題が配布されてから、2教科を選択できます。これらの変更点についてのお問い合わせ・御相談は下記で受け付けています。
函館大学入試事務局
〒042 函館市高丘町51番1号 TEL(0138)57-1181 FAX(0138)57-0298
平日午前9時から午後4時まで(土曜日は正午まで)

北から。
南から。

出身高校紹介

英語教育を重視した、正義人道の建学精神

皇居を望む千代田区神田錦町に位置する正則学園高等学校は、1896年、正則英語学校として創立されました。1971年に普通科を設置、73年現在の校名に改称。以来、英語教育の重視と正義人道の建学精神で、幾多の人材を生み出してきました。

教育の柱は、徳育・知育・体育。これは、規律正しく、真面目に勉学し、健康で明るい活力をおくることが本当の「高校生らしさ」である、という信念をかかげたもの。第一の徳育では、礼儀正しく、自律性に富んだ生徒の育成をモットーにしています。第二の知育では、徹底した学力向上が図られ、正規授業の外にも、週末などを利用して、学校施設である千葉県大網研修所で特別授業が行われています。第三は体育であり、学業との両立と健全な心身をつくることが目標です。生徒たちは健康状態や体力に合わせて、体育授業や部活動に可能性をスクスと伸ばし、持てる能力を存分に発揮しています。

1981年からは、日華両国間の文化交流を促進し、友好親善を増進するために3校と姉妹校提携を調印し、以来毎年研修旅行、ホームステイを実施しています。

個性・特性を伸長させ、さらに国際的視野を持つ人材の育成を図る

仙台育英学園
高等学校

1995年で、学園創立90周年。充実した設備の4つのキャンパスから成る仙台育英学園高等学校は、海外研修や短期・長期留学などの取り組みによる「国際化」教育の実践をきっかけ、グローバルな視野をもつ、文武両道に徹した人材を世に送り出してきました。

特筆されるのは、コース別のキャンパス構成と、実践的な英語教育です。難関大学をめざす「特別進学コース」・部活動を両立させながら進学をめざす「英進コース」は多賀城校舎。語学・国際系の難関大学をめざす「外国語コース」・進学にも就職にも対応できる「教養コース」は宮城野校舎。今年開設され、イギリスへの3ヶ月留学を取り入れた英語学習とスポーツに重点をおいた「国際教養コース」は松島校舎。さらに、豊かな自然の中で、毎年1年生の研修(2泊3日)が行われる那須研修センターがあります。部活動では、陸上競技部が'93年全国高校駅伝で、史上初の男女アベック優勝の快挙を達成。そのほかの種目でも、選抜、インターハイ、国体の常連校として有名です。

座談会

留学生◆交換教員

「お話ししましょう。函館のこと。函大のこと。」

ビジネスや文化のさまざまなレベルで国際化が進む現在、私たち函館大学も、世界に向けて開かれた大学であろうと積極的に行動しています。現在キャンパスには、一人の交換教員と二人の交換留学生在籍しています。小春日和のおだやかな午後、三人にお集まりいただき、函館と函館大学の印象などについて話していただきました。

●ブライアン・ダッフさん(専任講師 英会話担当)
●ハワード・シャローさん
(米国・ハワイ・パシフィック大学から九四年九月留学)

●ワシコフ・アレクセイさん
(ロシア・ウラジオストク極東国立大学から九四年五月留学)

●司会/国際交流委員長・助教授 松 喜美夫
●コーディネーター/教授 高月 晋



ブライアン
ダッフ



高月 晋



ハワード
シャロー

しないよね。これは日本人が留学する場合も同じだと思います。

司会/話すだけでは、いずれ壁に行き当たってしまうということですね。

シャロー/話すのは楽しいけれど、読み書きはむずかしいですね。わたし、青森出身の友達から津軽弁を教わった(笑)。

司会/アレクセイ君の留学の目的は?

アレクセイ/日本語をマスターすること、日本のビジネスや金融システムを勉強することです。日本語検定に合格すれば、日本で就職することもできます。シャローの目的は?

シャロー/日本の文化や考え方を学びたいです。将来は、日米の貿易に関わる企業に勤めたいと思います。

おいしいーきれー函館の魅力

アレクセイ/函館山の夜景は、ほんとにすばらしいですね。それと、市役所の上の階から見える函館の海が、ふるさとのウラジオストク湾にとっても似ていて、気に入っています。

シャロー/ホームシックになっちゃいます。アレクセイ/いやいや、まさか(笑)。



松 喜美夫

ダッフ/この街の名物なんだけれど、ぼくはイカがどうしても苦手。二人はどう? シャロー/私はアラスカの海のまちで育ったから、シーフードは大好き。このあいだ、乙部という町へ行って食べたエビのてんぷら、おいしかったわ。

アレクセイ/ぼくは回転寿司によく行きます(笑)。マグロ、トロ、サケ、みんなおいしい。司会/シャローは寮生活なわけだけど、不自由はないですか?

シャロー/みんなよくしてくれるから、快適です。このあいだ、みんなで銭湯にも行っちゃいました。

アレクセイ/ぼくも、保証人になつてくださった方をはじめとして、みなさんに応援してもらっている感じが



ワシコフ
アレクセイ

で、まったく不都合はありません。

函館大学の講義

司会/講義はどうですか? アレクセイ君は、日本の学生と全く同じ条件で専門科目をとっていますよね。

アレクセイ/銀行論、金融論、財務諸表論などです。このあいだ試験も受けて八〇点とりました。

シャロー/すごい!

(笑) 私は、歴史や地理や比

較文化の講義などです。函館大学のいいところは、まとまりが良くて親しみやすい感じ。キャンパスもきれいだし。ダッフ/でも、函館大学に限らないだろうけど、日本の学生はやはり少しおとなしいですね。もっと自己主張をした方がいい。日本人の考え方の基本は「集団」にあるけれど、西欧人のそれは「個人」にあります。そうした文化的な違いなのかとも思います。

アレクセイ/ロシアでは、いま教育の予算が削られていて、奨学金もなかなかもらえません。学問をしたい若者は、自分で働きながらがんばっています。そういう意味では、日本の学生よりハングリーかもしれない。

ダッフ/函館大学はビジネス・カレッジですから、教えていて、英語をマスターしたいという意欲は感じます。ビジネスの世界でも、これからは英語がかならず必要になってきます。英語は、なんといってもワールド・ワイドな言葉です。



●タン・スーレンさん
(三年生・シンガポールから平成四年入学)

●授業はどうですか。

いろいろな分野の知識が得られるので、とてもためになります。先生たちも非常に熱心に指導してくださるので、感謝しています。

●羽球部では大活躍していますね。

はい。みんなと一緒にインカレに出場することでもできました。監督の指導にも情熱を感じます。メンバーもそれに応えて実力を発揮していると思います。

●卒業後の進路は?

日本とシンガポールの貿易ビジネスに関わりたいです。数年は日本で働き、いろいろな経験を積んだ後は、やはり母国で働きたいですね。

●日本に来て困ったこと、良かったことは? 円高のせいで、母国からの送金がついてですね。幸い、国の奨学金と函館市の援助をいただいています。ここで、先生や監督や皆さんの仲間と知り合えたことは、一生の財産になると思います。

派遣留学生便り

「留学でわいてきたファイト」
池上 千春さん



私は今ハワイにいます。ここに着いてからはやくも一カ月半が過ぎました。私にとっては、全てが驚きの連続です。文化の違いには、それぞれの受け取り方があると思いますが、自分も留学生になってみて初めてその気持ちかわかる気がします。言葉は自由に操れないということですが、ここまで大変だとは思いませんでした。今まで培ってきた自信が音を立てて崩れていく様は、爽快でもありませんが、本心に寂しいものでした。今は、徐々にそう簡単には崩れない自信を築き直しているところです。日本人として、函館大学の学生として、精一杯勉強し、私自身の力になるような留学にしたいと思っています。

派遣留学生便り

「'94私の夏休み」
佐々木 奈歩さん



約三カ月の夏休みのうち二カ月は勉強し残りを遊びに費やしました。この中で大きなイベントはアリゾナグランドキャニオンへの旅です。メンバーはひょんなことから知り合いになった四人で、日本語、広東語、英語の入り交じった三泊四日の旅は私たちの仲を深め、強い日ざしにもめげずグランドキャニオンでたくさん写真を撮りました。今でも彼らと連絡を取り合っていて宿題を教えたりもらったり、また一緒にどこかへ行くよと話をしています。私はこの旅が二十一年の自分と一緒に一生色褪せることなく心に残ると断言できます。



●論文名
対人不安的自己意識と自己概念
(函館大学論究・第二十五輯掲載)

専任講師
本間 恵美子

教員インタビュー 「研究室から」

教員の研究の“今”を、インタビューでお伝えします。

■テーマについて教えてください。
対人不安的自己意識と自己(他者)概念との関連についての考察です。学生に意識調査に協力してもらい、そのデータをもとに書きました。一般的に、対人不安の強い人間は、さまざまな状況における自己をネガティブに見る傾向が強く、物事をステレオタイプに考えることが多いということがわかりました。

■例えば、登校拒否症などの関連は？
登校拒否や思春期鬱症などは、背景に対人不安がみられる場合が多いようです。家族などの親密な人間に対しては、あまり不安はありません。全くの他人に対しても同様です。しかし問題は、友人やクラスメイトなどの中間的人間関係です。つまり、どのような人間関係の中にあるかで、自己という概念が大きく揺れてくるわけです。

■日本人に固有の傾向はあるのでしょうか？
面白いことに、欧米人には対人恐怖症という診断名自体がありません。個人主義の文明ですから、人間関係の網目の中で、人に不安を覚えるということを認めるわけにはいかないのではないのでしょうか。

■自己という概念がポイントですか？
ええ、今後は、自己が形成される文化・社会的背景や発達の過程との関連でこの問題を考えてみたいと思っています。

●論文名
民事訴訟法学から見た製造物責任
(函館大学論究・第二十五輯掲載)

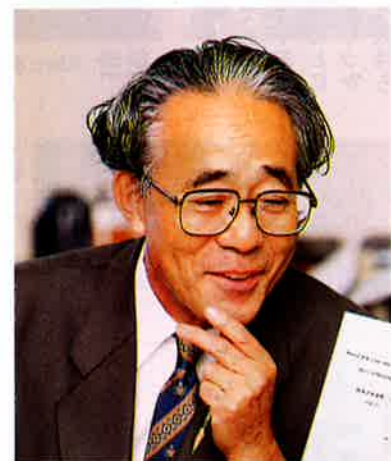
教授
清水 紘史



■九五年七月からいよいよ日本でも製造物責任法(PLF)が発効される見込みと聞きました。先進工業国の中で製造物責任法が立法化していなかったのは、日本だけでした。この論文は、これまで民法の立場からしか検討されていなかったこの法律を、手続法の側から考察したものです。

■アメリカでは、この法律によって未曾有の訴訟社会が生まれていますね。
毎年、州の裁判所の単位では数十万のPLF法による訴えがあります。その結果企業倒産が起ころったり、開発されるべき新製品の開発が中断されるという事態にまで至っています。しかし、日本ではそうはならないだろうと思います。歴史・文化の違いが大きいのですし、無過失責任とか厳格責任とかという議論とは別に、訴訟制度上の手続きに大きな相違があります。事実、ひと足早く導入したEC諸国が一気に訴訟社会になったかというところ、そんなことはありません。

■これによって、日本の社会はどうかわるのでしょうか？
社会の成熟化というベクトルが生活者重視の方向へさらに進むことは間違いありません。立法論としては、紛争解決の最終駅である裁判所に対して、欠陥概念の明確な指針となる判断などを望みたいですね。



●論文名
韓非子と春秋(二)
—宋襄の仁—

教授
大嶋 隆

■「無益の情け」のことを言った「宋襄の仁」という言葉の原典がテーマですね。
儒教の聖典の一つである「春秋伝」の一節です。宋と楚との戦いのとき、宋の公子目夷が、楚が布陣しないうちに攻撃しようと言いましたが、襄公は君子は人の困っているときに苦しめてはいけないという攻めず、楚に敗れたという故事があるのです。そこから、不必要な哀れみを施して痛みにあうことを、「宋襄の仁」と呼ぶようになりました。

■どのような時代背景があるのでしょうか？
襄公はなぜそのようなふるまいにでたのでしょうか？
中国の春秋時代とは、紀元前八世紀から三世紀ころ。殷周の社会が戦国社会へと移行する過程でした。社会が大変動に見舞われた時代であり、戦争の形態も車戦から騎戦へと移行しつつありました。古代の戦争はいわば神々の戦いです。武力の前に、神々の加護の下にさまざまな呪力を行することで勝利が得られると信じられていたのです。

■襄公にはそうした古い宗教観があり、他の人間にはそれがもはや希薄化していたということでしょうか？
基本的には、そういう主旨を軸に論考を進めています。宗教行事としての戦争と、現実的で功利的な戦争との衝突ではなかったかと。



●訳書名
「妖精の国の女王」第一巻・二巻
(エドモンド・スペンサー作)

教授
宮崎 正孝

■「妖精の国の女王」とは、どういう作品なのでしょうか？
中世英語で書かれた叙事詩です。作者のエドモンド・スペンサーは、十六世紀のイギリス人。シェイクスピアの同時代人です。近世英国詩の巨人といえます。内容は、簡潔に言うと、妖精の国の女王を護る「赤い十字架の騎士」の冒険流離譚といえます。騎士の倫理観や民間伝承などを織り込みながら、全六巻にわたって延々と続きます。それでも未完に終わってしまったのです。

■翻訳を始めたきっかけは？
私の恩師が始めた仕事だったので、先生が急逝されて。いろいろな想いを込めて、自分が最初から訳すことにしました。

■翻訳する上でのポイントは？
原文は、スペンサー・スタンザと呼ばれる、美しく韻をふんだ九行の詩型からなっています。けれども私は自分でも詩を書きまじから、いわば日本語の詩を書いたり読んだりするような気分で、形にこだわらずに訳しています。だから、句読点や、註も付けていません。

■これからの計画は何かですか？
現在第三巻を訳しています。六巻までは、まだ遠いですね(笑)。一歩ずつじっくりと訳して行きたいと思っています。



●学位論文名
北海道南西部の砂質海岸に生息する端脚類、Haustorioides japonicus (Dogielinotidae)の生態学的研究

教授・水産学博士
上平 幸好



■学位論文の研究対象は、先生が発見し新種として命名した「ナミノリソコエビ」ですね。
これは、北太平洋沿岸の砂質海岸に特有に生息している端脚類で、ヨコエビの仲間です。今までこれに取り組み研究者が誰もいませんでした。開放的な砂質海岸(荒い波が寄せる砂浜)の生物研究は、生物相が多様な岩石海岸に比べると遅れているのです。

■どんな生き物なのでしょうか？
函館の大森浜にもいますが、注意深くないとふだん皆さんが目にすることはありません。大きさは八〜十mm。潮間帯生物の特徴として、潮の動きに合わせて居場所を変えます。そこでナミノリと名付けたのです。厚い外骨格や基板のために乾燥性にも強く、生息域の海水温によって、年に一〜二回繁殖をします。

■論文のポイントは？
生活史や繁殖生態のほかに、単位面積当たりの生産量(繁殖量)やエネルギー収支の推定まで行ったことですね。二十年間、野外と実験室で積み上げてきたデータを、詳細に論文化しました。それが、「研究の少なかった砂質海岸の生物生産のひとつのかたちを明らかにしたもので、低次生物生産の研究に寄与するもの」と認められたのです。



●著書名
岩波講座・日本通史第八巻・中世3
(岩波書店・共著)

助教授
坂田 聡

■概要をお聞かせください。
新しく刊行がはじまった日本歴史のシリーズの中で、「中世の家と女性」の論説を担当しました。京都郊外のある村の調査をもとに、中世後期・室町時代に、日本の「家」や「女性」の地位の面で大きな構造転換があったのではないかと考えました。

■今日の家族制度に繋がるような転換でしょうか？
ええ。この時代は、父から一人の息子へと先祖代々伝えられる財産が初めて生まれた時期なのです。貧しいけれども自由なその日暮らしの時代にはなかった、家の財産を守って、代々続いていく「家」が成立すると、「女性」は家にしばりつけられ、その地位も低下することになりました。

■それ以前はどうだったのでしょうか？
鎌倉時代には、一般的に夫婦別姓で、財産も夫と妻が別々に持っていました。したがって、代々続く家などなかったし、女性の地位も比較的高かったのです。

■経済成長が「家」の制度をつくったのですか？
はい。「家」の成立は、まさに現在の家族形態につながる歴史の一大転換点だったのです。



マーケティング論ゼミナール 教授 大野 和雄

函館の魅力を知問する

観光は、函館を支える大きな産業のひとつです。私のゼミでは、この「観光」を切り口にマーケティング理論を学んでいます。函館の観光資源とは、明治の文明開化の先頭にいたというその歴史であり、まちと自然がつくりあげた函館山の夜景です。そうした点に、天然の風景を売り物にする名所や、大規模な資本投下によるテーマパークなどは明確に異なる厚みがあります。ですから、この恵まれた研究素材を前にして、北海道・函館ならではのマーケティング研究をやらうと熱が入るわけです。

具体的には、ホテルや交通、旅行エージェンツなど、業種別に各自がテーマを決めて、

企業がどのようなビジョンや戦略で活動をしているかを考察したり、実際にフィールド調査を行ったりします。新しい発見は、じつに身近なところにあります。そして問題は、それを理論とどう結びつけるか、にあるのです。また、四年生の卒論をまとめた「流通革新」という小誌を隔年で発行しています。



会計学ゼミナール 専任講師 今井 敏博

テーマは、会計学の基本中の基本であるところの制度会計・財務会計論。三年生十五名がメンバーです。一、二年生で学んだことに戻ったりしながら、とにかく基本をしっかりとじっくりマスターしていこうという気持ちで。具体的には、大企業が財政状態や経営成績を一般に公開する「決算公告」、企業財政のしくみやそれを公開しなければならぬ意味などを考察していきたいと思っています。また、簿記検定をめざす諸君には、個人指導を行っています。

とはいっても、私が考えるゼミナールとは、まず大学生活の中で人間的なつながりを築き上げていく場です。成績だけにとらわれ



ず、自由ののびのびと学ぶことから、友達や教員を通して自分の世界がどんどん広がっていく、すばらしいことだと思います。だからウチのゼミは放し飼いで、元氣と人柄が第一なのです。



中小企業論ゼミナール 講師 福士 隆三



「実体経済のセンス」を身につけよう
デフレ化、価格破壊、産業の空洞化……。このところ新聞の経済欄をにぎわすキーワードを見るだけで、日本の経済がいま大きな変容を強いられつつあることがわかります。そしてこうした動きは、とりもなおさず私たちの暮らしに直結する大きな問題でもあります。



基礎があれば、変化への対応も容易です。またこの命題は、若いときに身につけた素養はそのあと一生の財産となる、という意味にも広げることができそうです。ゼミ生には、そのところをぜひ理解してほしいと願っています。

円高を回避するために企業の海外移転が続けば、産業が空洞化して雇用が減少し、地域経済が停滞する恐れがあります。

このゼミでは、こうした事柄に代表されるような「実体経済」をとらえながら、日本経済のベースを支える中小企業の特長や問題点を具体的に探っています。企業活動とは、つねに「応用問題」です。しかし、その動きをとらえるためには、まず基本となる事柄をしっかりと把握しておかなければなりません。

Seminar

会計学ゼミナール 助教授 片山 郁夫

財務諸表から何が見えるか

会計学ゼミですから簿記など会計の具体的方法について勉強するのは当然です。しかし、そういった技術的側面だけでなく、企業



会計の社会的側面についても考えることができるように配慮して指導しています。つまり、具体的な会計方法の根拠を検討することによって、現実の企業会計に対する「考えかた」を身につけてくれればと思います。

新任 教職員 PROFILE

はじめまして！〈新任教員登場！〉



助教授 藤嶋 暁

はるばるきたぜ函館へ

藤嶋先生は、この春まで㈱シャープの人材開発センターの所長という職にありました。二十九年間シャープに在籍して、そのうち六年間はイギリス暮らし、合わせて十五年間は国際関係のビジネスの現場にいたそうです。「函館という街の魅力、自分の新しい人生のため、そして理事長や学長をはじめとするスタッフの皆さんの人柄に惹かれて（笑）、やってきました。僕は、ビジネスの現場と経済や商業の学問がどうも離れすぎているような気がしていました。そのへんのところを自分なりに整理して、学生諸君に生の国際ビジネスのダイナミズムを理解してもらおうと思っています。人事採用の現場での経験も豊富なので、就職副委員長にも就任し、就職活動にあたっての指導も積極的にしていきたいとはりきっていらっしやいます。「シャープという会社は、とにかく新しいことを先頭に立って開発してきた会社でした。その精神を、これからは函大で活かしていきたいですね。」



専任講師 田中 弘樹

「ロンドンと相模」。これが田中先生を知るためのキーワードです。「専門は、音声学です。つまり、英語の発音の仕組みや理論を研究すること。ロンドンへの留学で自分なりの研究の方向を固めました」「いまの講義では会話文が中心です。聞いたり話したり、コミュニケーションとしての英語の使い方を教えています。カリキュラム改革の中で、英語の講義が占める役割にも大きなものがあり、なんとかみんなに「使える英語」をマスターしてほしいですね。」

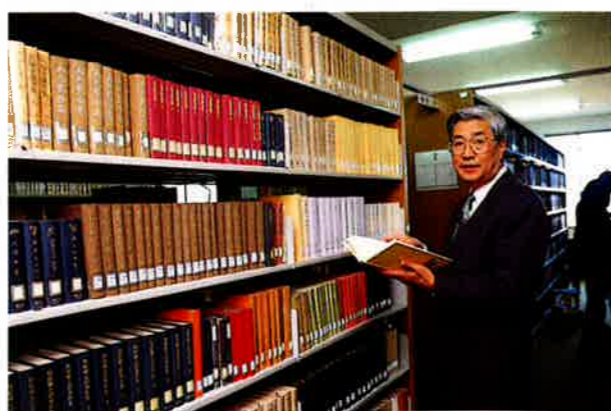
そして、相模。子どものころから大好きで、地域の同好会などで一人で力をつけていったそう。大学を卒業するころには、東京の地区大会などでつねに上位に入るほどの実力でした。しかし、ちょうど国体を狙うぞ、と決意したころ、猛稽古のためか腰を痛めてしまい、涙をのんで現役引退。今でも悔やまれるケガでした。「これからは、相模で鍛えた突進力で、みんなの英語力を押し上げますよ（笑）」。



専任講師 世良 耕一

学園最年少。はたしてその素顔は？

バリバリの三十歳。学生の兄貴分的若さの世良先生は、都市銀行の企画部勤務の経験があり、ニューヨーク大学でMBAの資格を取るなど、華やかな経歴をお持ちです。この春から、函大に赴任して、一人暮らしを始めました。「東京生まれで、函館に来たのは、高校の修学旅行以来でした。観光都市だけあって、歴史のある街並みがきれいで、食べ物がいっぱい（笑）。そうそう、いま、ラ・メゾン・ド・カンパニーというフランス料理のお店が気に入っているんです。もうひとつ先生の青春時代からの大のお気に入り、ズバリ、さだまさし。コンサートにも出かけ、レコードやCDはすべて持っているというくらい筋入りです。「今度、学生とフォークソング研究会をつくらうかなあ、なんて考えているんです（ほんとには、さだまさし研究会）」としたいけれど、それでは人が集まらない可能性がある（笑）。「ほくもギターをやるので、いっしょに歌いませんか！」



図書館課長 川島 孝夫

一冊の書物との出会いをお手伝いたい

やわらかな笑顔は、この春まで務めていた中学校の校長先生ならではのものではないでしょうか。

「初等教育に四十年近く携わり、今度にはからずとも高等教育に携わることとなり、責任を自覚しています。」「毎日こうして本に囲まれた場所にいますと、なにか人生に大きな忘れ物をしてきたなあという気持ちがありますね。つまり、『読書』です。若いときにもっと本を読んでは良かったかと痛感しているのです（笑）。函館生まれの函館育ち。学生時代はバスケットに熱中なっていたとか。「そのころの仲間、今でもつき合っている、私の財産です。スキーのキャリアも長く、若い頃はシーズン毎に長野の方まで滑りに行っていたというから、相当の腕前とお見受けします。」「函大生にもっと本を読んでもらうことが、私の仕事だと思っています。学生生活で重要なことは、友や師との出会い、そして良い書物との出会いではないでしょうか。図書館で顔を見かけたら、気軽に声をかけてください。」



「私が小学校四年のときですから、相当むかしだということはおわかりでしょう(笑)。父にコンタックスの二眼レフを買ってもらいましたね。当時の値段で二千元！それが最初のカメラ。今もありますよ。以来六十五年、いろいろ集めて二五〇台くらいはあるはずなのですが、今となつては書庫の奥から出せないものもありまして」。先生のカメラ収集歴は、そのまま世界のカメラの歴史であると言つても過言ではないでしょう。その時期その時期で最新のものを集めていたら、結果的にアンティーク・名機のコレクションになつてしまつたとおっしゃいます。「私は、京都の帝大を出て永いこと役人暮らしをしておりました。昭和三十年代、白河の営林署長をしていた時代、新聞社と協力して那須岳の火口原を、ラジコン飛行機にカメラをつけて撮影しようとしてましてね。飛行機がカメラもろとも墜落して大失敗したことがありました(笑)。いまは花とか孫なんかを平和に撮っております(笑)」。

考えられないですね、音楽のない生活

事務局長
石崎 福邦



富良野生まれの石崎さんがはじめて海を見たのは、小学校五年生のときでした。「留萌の海でしたが、大きくて感激しましたねえ(笑)。それが今では、毎日海が見える函館に暮らしているのですから不思議な縁です」。

高校、大学と合唱団に。両親の影響を受けて、子どものころからピアノやヴァイオリンに親しんできた石崎さんが選んだのは、人間の声という楽器でした。「合唱歴は三十年ほどになります。好んで聞く音楽も無伴奏合唱曲の類が多いですね。一六世紀のイタリアにバレストリーナという音楽家がいる、当時世俗化されつつあった教会音楽がストイックな方向に振り戻した作曲家なのですが、そのミサ曲がもう長いこと好きなんです。人間の声の持つ豊かさが何よりも魅力という石崎さん。「器楽曲と異なつて、合唱曲や歌曲には、詩による表現が重なってきます。音と言葉の意味が共鳴してくるわけです。でも、やっぱり合唱は、聞くよりも歌う方が楽しいですよ」。

はじめて知ったお茶の世界

教務課
稲村 早苗

函館短期大学を卒業して函大の教務課に入つて三年目。そろそろ仕事のペースもつかめて余裕が出てきたころですが、この春からお茶(表千家)を習い始めたそうです。「見るもの聞くものはじめてのものばかりで、とても新鮮です。いろいろな礼儀作法や和室でのふるまいも自然と身につきます。今まではそんなこと考えもしなかったもので(笑)とても勉強になります」。

「お茶自体のことはもちろん、器のこと、日本の歴史のこと、お花のこと、お菓子のこと、着物のこと、お茶を習うということ、大きな文化の体系みたいなものを身につけていくことなんだなあとわかつてきました」。

「量の歩き方って知っていますか？縁の長い方を六歩、短い方を三歩で歩くのですよ。知っている人にとっては常識なのでしょうけれど、私にとってはほんとに驚き」。そんな彼女の内面の変化、諸先輩や上司は気づいているのでしょうか？

お元気ですか？

想い出往来



名誉教授
和泉 雄三

函館大学の思い出

二〇年以上、勤めた函館大学の思い出の中から、一つ、選り出すとすれば、何といつても、昭和四三(一九六八)年五月十六日(木)午前九時四九分に、突然起きた十勝沖地震のいきさつである。

この地震で、四階建ての校舎の一階が五分間で、つぶれたのである。丁度、第一講目の授業中に起きたこの突然の地震で、相当の死傷が出てもふしぎはなかった。何しろ、三階、四階で、講義が行われていたのだから。ところが、奇跡が起きた。死者なし、負傷者一人ですんだのである。二年生の鈴木正俊君が一ヶ月の負傷で、外は、かすり傷程度であつた。

調べてみると(当時、私が学生部長)、男子学生が、女子学生と女子職員を誘導し、手を引き、背負つて校外へ出たことがわかつた。私は、この時ぐらい、現代の若い日本の男性に感心したことはない。

もう台数もわからないカメラ・コレクション

名誉教授
神田 弘



「私が小学校四年のときですから、相当むかしだということはおわかりでしょう(笑)。父にコンタックスの二眼レフを買ってもらいましたね。当時の値段で二千元！それが最初のカメラ。今もありますよ。以来六十五年、いろいろ集めて二五〇台くらいはあるはずなのですが、今となつては書庫の奥から出せないものもありまして」。先生のカメラ収集歴は、そのまま世界のカメラの歴史であると言つても過言ではないでしょう。その時期その時期で最新のものを集めていたら、結果的にアンティーク・名機のコレクションになつてしまつたとおっしゃいます。「私は、京都の帝大を出て永いこと役人暮らしをしておりました。昭和三十年代、白河の営林署長をしていた時代、新聞社と協力して那須岳の火口原を、ラジコン飛行機にカメラをつけて撮影しようとしてましてね。飛行機がカメラもろとも墜落して大失敗したことがありました(笑)。いまは花とか孫なんかを平和に撮っております(笑)」。



教職員 PROFILE

酒と涙とテニスとボウリング

教授
新谷 典彦



「いまは、山形の『住吉』という酒をこよなく愛しております。辛口で、いけますよ。もつとも、最近は昔ほどは飲みません。すぐ眠くなつてしまつて。学生に誘われればつきあいますけど(笑)。そのつき合ひは、夜更けの二時でも三時でもOKといひますから、尋常ではありません。酒好きで知られる新谷先生ですが、最初はぜんぜん飲めなかつたそうです。「吐きながら飲んでるうちに、飲めるようになりまして」。大学院時代、勉強と同じくらい打ち込んだのがボウリング。「文字どおり生活(?)をかけてやっていた。そのころのアベレージは二二〇くらい。いまでも六ゲムくらいは涼しい顔して投げてしましますから、学内のボウリング大会では、燃えます」。その調子で、テニスにも燃えた時期がありました。なんだか、どことん」という日本語は新谷先生のためにあるような気がしてきます。そして、先生の今の「ことん」は、学生のめんどうでしょうか。

四季それぞれに、おもしろすぎる函館暮らし

助教授
三浦 俊和



学園でも有数の多趣味を誇るのが三浦先生。砲丸投げで国体優勝という輝かしい経歴を持つ元アスリートだけに、なにことに對してもその行動力と集中力は抜群です。「春は大沼のヘラブナ釣り、夏は尻別川などでアユ釣り、秋は家族サービスと冬の準備、冬はスキー!というのが私の一年です」。大沼は、日本でも有数のヘラブナのメッカ。五月には日本中からファンが集まります。「大沼のフナは野べらといつて全く天然のままのものなのです。それはもう、奥が深い釣りが楽しめますよ」。

「七月八月のアユ釣りもまた、デリケートな釣りです。多い年で合わせて四五〇匹くらい釣りました。でも、最近行くと川が干涸びにいられてる。生態系を無視した護岸工事が平気で行われていたりして、環境に対する危機感をおぼえますよ。そして、冬がくればスキー。指導員の資格を持つ先生の忙しさも増してきます。「多いシーズンで八十回くらい行つたでしょうか。最近はその四分の一くらいです(笑)」。



素晴らしき中国野球

専任講師
坂野 学

「九二年に一年間中国で勉強してきました。ぼくが最初に中国を学問の対象に選んだのは、まず人があまりやっていないことだったからですね(笑)。それと、もの心がついてからずうっと東西の冷戦があり、近代、という欧米が作った制度がいろんな意味でゆらぎはじめていた中で、人間の進路には、東でも西でもない第三の道があるのではないかと考えたから。それが中国なわけですね。それと、安保闘争など戦後の社会運動の底に流れていた中国の影響を勉強したくもありました」。

ぐいぐいと語る坂野先生が、学生時代に熱中したのは、実は野球。中国文学専攻の仲間や教員とチームを作つて、大いに盛り上がったそうです(中国と野球という組み合わせが今ひとつわかりませんが、「中国野球」という野球スタイルをみだしたのでしょうか)。「一度、絶対に負けるわけのない留学生のチームに負けましてね。あの時の悔しさは今でも忘れません」。



常温核融合スキャンダル
教授 溝田 春夫

一九八九年三月アメリカで常温核融合成功のニュースが発表され、大きなニュースとして世界を駆け巡った。と言うのも、これが本当なら画期的な発見となり、近い将来人類が直面するであろうエネルギー問題の解決につながるからであった。以後、世界の多くの研究者が追試に取り組み、大きな論争を引き起こしたが、期待される結果は得られなかった。現在もなお研究に取り組んでいる研究者もいるが、学界では否定的な見解が大半を占めている。この常温核融合の論争はおそらく科学史に残る事件の一つであろう。この事件は、論争の顛末そのものと同時に、研究の在り方や研究費の制度、そして研究者の評価の在り方などを考える上でも貴重な教訓を残したと言えるであろう。私にとっても一つ興味あることは、専門分野が近いことから常温核融合を手掛けた多くの知り合いがいたことであり、この本の登場人物もかなりの数知っているためである。科学の発展はいつも順調にいくわけではなく、多くの試行錯誤の後になされるものである。



「常温核融合スキャンダル」
ガリー・トブス著（朝日新聞社）
渡辺 正訳



蓮如—聖俗具有の人間像
専任講師 寺田 隆至

蓮如はもちろん、仏教に全く不案内な評者が本書を手にしたのは、ただ「聖俗具有の人間像」という副題に惹かれたからであった。浄土真宗の「中興の祖」と仰がれた蓮如—その人間像に迫ろうとする著者が重視するのは、蓮如が親鸞の血脈を引く本願寺の子でありながら、実母がいわば「いやしき身」の人であったという「二つの業」を背負ったことである。蓮如は、他の真宗諸派の繁栄をよそに「参詣の人一人もなし」とされる有様の本願寺を再興することに、また、「いやしき」自分に繋がる名もない民衆に親鸞の教えを広め伝えることに全力を傾ける。その言動には、親鸞にも評価されるような一面を、さらには政治家とも評価されるような一面を、意識とは異なる生々しい情感の溢れた民衆感覚を見いだせる。「聖俗具有」と言うべき矛盾に満ちた蓮如—そこに著者は惹かれていたのである。評者の読後感もまたそうであった。



「蓮如—聖俗具有の人間像」
五木寛之著（岩波書店）

父の詫び状

図書館 木村 美佐

著者の向田邦子さんの記憶力の良さには驚いてしまう。子供の頃に使っていたお皿の模様から父親の宴会帰りのお土産の中身、女学生時代のクラスメイトの特徴のあるお下げの形までが文章で鮮やかに再現してくれる。小学生の時に好きだった食べものの話である《海苔巻の端っこ》は「私も同じ。」と嬉しくなってしまう。すると、するりと私自身の忘れていた記憶が蘇ってくる。《記念写真》の向田家のにぎやかな撮影風景は我が家の家族写真の風景が二重写しになる。たくさんささやかだけれども温かい事が次々と思いついて鼻の奥がツンとしてしまった。

航空機事故で記憶の達人の向田さんが逝ってしまつて十三年が経ってしまった。私の年齢はどんどん彼女の足跡に近づいていっている。彼女の記憶が私の今に似ている事もたびたびある。何度読み返しても新しい思いを見付ける私の大切な一冊である。



「父の詫び状」
向田邦子著（文藝春秋社）

むしろ戦争の行方を熱心に考える時が私には屢々ありました。

そこで時局が急転して生じた戦争の終息状態は私にとって異様な静寂感をもたらしたのであります。ところがこの年は六月、七月は天候不順で、私は台地から上空に漂う霧や靄を眺めながら、冷気が身に触れることを屢々感じておりました。八月下旬から九月にかけて私達は学校で授業を受けていたけれども、十月には又十勝地方に食糧増産のため出掛けなければならませんでした。そして援農動員から私達は十一月になって帰省することになりました。この後私の通学生活が回復しました。その間戦後の沈静した雰囲気では物音や風の動きすら訝えて感じられました。併し私にとって将来への志向性は単に空虚の中に消え去るだけではありませんでした。この後どのように生きて行くのであろうかと思うことは社会生活や国の運命とは無関係には考えられなかったものであります。漁業や林業は相当活気を呈しておりましたが、凶作による食糧事情や社会の状態はひとりでに漠然と広がった将来への志向性を揺り動かし、喚起するのであります。それに太平洋戦争終結直前に参戦したソビエト連邦の世界歴史への対応態度はやはり日本の運命に大きな影響を及ぼすであろうと推察されたのであります。これからの社会体制は共産主義の支配的な秩序になるのであろうか。それとも資本主義の経済体制は変貌した形で永続的であり得るのであろうか。そこで日本で生きて行くことには、日本自体の行方と対決せざるを得なくなるのであろうと考えられたのであります。先ず世界平和の実現過程が将来に望まれなければなりません。それにしても私達のおかれていた状態は歴史の必然的進展過程に依らざるを得ないのであろうか、それには歴史進行の、そして論理的な一定の形があるのであろうか、それとも将来する状況に臨む私達の生き方や或いはそれと共に何か私達の命運を開くことが出来るのであろうか、私はそのようなことを思い惑いながら、遭遇している情勢



すてきなあなたに(第三巻)
総務課 阿部 洋子

これは暮らしの手帖に掲載されたエッセイ集です。以前に「小さな親切運動」というのがありましたが、その心の感動編といったところでしょうか。街ですてきなおしゃれをしている人（特に年配の方）を見かけたり、こまっている時に通りがかりの人に手助けをしていただいたり、訪問先で心温まるおもてなしをいただいたり、人と人との間の最小限守ってほしいエチケット、家庭生活のチエ、楽しく作る料理の工夫等々、日々の暮らし、出会いの中で感動をえた小さな出来事をわかりやすい文体で綴られております。

気心の知れた仲間のいい言葉や、やさしい言葉がずいぶん人の心を和ませて励ましてくれるものです。この中のどれか一つ二つは心に残り、あなたの暮らし方を少しは変えてしまいかもしれません。



「すてきなあなたに(第三巻)」
（暮らしの手帖社）

青春記

伊藤 結城夫



青春時代は自分の人生に可成り強力な方向付けを促すことがある。八月になってお盆が来る頃、私は毎年第二次世界大戦の日本に於ける終戦の日を思い出すのであります。終戦は私にとって衝撃的な印象を心中に惹き起こしたのであります。一九四五年八月十五日玉音放送がありました。この事を拝聴した人々の光景はカメラの録画によって幾分深く心の中に留めおかれております。私の平凡な生活に於いてもその前日にラジオによる重大放送があると云う話がひそひそと語られていました。併しそれは何か特別な期待感を胸中に呼び起こすようなことでもありませんでした。時局は重大な岐路にさしかかっているとは思われておりましたが、それが衝撃的な思いで受けとめられるとは予想しておりませんでした。

青春時代には自分の人生に可成り強力な方向付けを促すことがある。八月になってお盆が来る頃、私は毎年第二次世界大戦の日本に於ける終戦の日を思い出すのであります。終戦は私にとって衝撃的な印象を心中に惹き起こしたのであります。一九四五年八月十五日玉音放送がありました。この事を拝聴した人々の光景はカメラの録画によって幾分深く心の中に留めおかれております。私の平凡な生活に於いてもその前日にラジオによる重大放送があると云う話がひそひそと語られていました。併しそれは何か特別な期待感を胸中に呼び起こすようなことでもありませんでした。時局は重大な岐路にさしかかっているとは思われておりましたが、それが衝撃的な思いで受けとめられるとは予想しておりませんでした。

玉音放送は雑音が激しく混じって、はっきりとは理解され難かったものであります。それについてアナウンサーの報道がありました。それで時局は終戦になった事が漸く明瞭に理解される様になりました。併し放送を傾聴している最中でも、重大な戦局の転機が予想されると云う前日の思惑が心中に残っていて、一緒に聞いていた誰かが「戦争は終わった」と叫んだので、直前に聞いたことを確かめるようにして、この異変時を知ったのであります。私は呆然とした思いに陥っておりませんでした。居間でその日に起きた予想外の事態や今後の行方について話し合う会話を聞いていたけれども、私は屋外に出て、家並みがまばらになる方へと、ただ歩いて行きました。歩む方向の彼方に見える小高い崖の稜線には青空が広がっていた。よく晴れた日でありました。私には殆ど物音も

と歴史の進展に大変興味を覚えるようになりました。それで戦後出版された啓蒙的な書籍や雑誌、それに古本等も読む日々が私には可成り続きました。当時新刊の雑誌は薄いものでしたが、私は中学生であったにもかかわらず、「中央公論」や「改造」等も偶々購入出来た機会に、関心の赴くままに読み、理解に努めました。「世界」は創刊号に近い号から入手出来て、京都の学校に通学するようになってからも読むことが出来て、第二号を別とすれば創刊号より全巻に接することが出来ました。省みれば中学時代の関心の彷徨の中、日本の将来には工業技術を開発し、技術的便法と共に産業を振興しなければ、食糧事情と共に窮乏している状況を脱する道はないように思われました。それで受験勉強はあまり充実していなかったにもかかわらず、知能テストは理科系の方が適していると言う成果を頼りに、私は北大予科を受験しました。その結果は失敗でした。私はその後高等学校や専門学校に入学出来ずに、新制度の高校三年生になりました。結局私にとって受験で成功した例は中学校と編入試験と大学、大学院だけであります。中学生から文学書に接する機会が随分多かったと思えます。夏目漱石にはとても魅せられて、桜痴書院や岩波書店出版のものを耽読することが屢々ありました。中学校や高校でも文芸部に入部し、大学でも「羊」(牧羊神)の同人仲間に入っており、併し一度も作品が書けず、随分心残りがありました。やはり戦後の行方と社会形態の変遷に関する考慮や言葉による文化遺産に対する思慕が胸中を離れなかったものであります。私は哲学科に所属して、ヘーゲル哲学を学ぶことに専念するようになりました。弁証法的論理を究明することが私の課題であると自認しました。青春時代は何か内的必然性に依るのかの如く、その後の人生に関わるようであります。

金森商船株式会社

創業は一八八七年（明治二十年）。明治・大正・昭和と倉庫業を中心に多彩な事業を展開してきましたが、現在は観光都市函館の顔である「函館ヒストリープラザ」の運営が業務の中心です。

「造船大手の函館ドックや北洋漁業が下り坂になり、やがて連絡船の廃止が決まる……などということが続いた一九七〇年代、この街はなんとなく元気を落としていました。そのとき、市民の各層がこのままではいけないと考えはじめ、私も、違ふ分野に挑戦しようと決心したのです」。そこで、明治から親しま



函館とともに歩んで百余年

函館企業訪問



取締役社長
渡邊 兼一
(本学3回卒)

れてきた赤レンガ倉庫群を改装して一九八八年にオープンさせたのが、ビアホールやレストラン、生活雑貨、おみやげのショップからなる複合商業施設「函館ヒストリープラザ」でした。「これは、創業者の意志を現代に甦らせたともいえるものです。つまり、ショップは、海外の文物を当時いち早く輸入した『金森洋物店』、ビアホールは、明治十年にいまの函館公園の裏で始められた『函館ビル』の現代版なのです」。オープン当初、全国のマスコミはこの美しくロマンチックな施設群に大いに注目し、新事業はいち早く函館の新名所となりました。

「レンガの倉庫群は、明治の後期に建てられた古い建物です。しかし、何度も大火を経験したこの街ならではの、驚くほどの堅牢さです。現代のビルよりもよっぽどしっかりしていますよ（笑）。各店内には、当時のまの床や壁や柱が見事にそのまま活かされています。『観光色の強い店に見られがちですが、私としては、まず市民の方にかわいがっていただくことを基本に考えています。なんといいっても、この街にしっかりと根をはって活動することが、わが社のモットーなのです」。

私の函館散歩

◎函館の街 赤川村



名所旧跡の街、函館は到る所正に観光スポット。正直言って名所旧跡は疲れる。一張羅着込んで、どこかヨソユキ顔でって感じがする。御馳走もいつもいつもは飽きがくる。たまにはお茶漬けサラサラといきたい。元町界隈は歴史の街ハコダテだ。余所から来る我が家の客も、当主以上の函館通で、ヤレ公会堂、外人墓地、ハリストス教会、函館山の夜景、啄木公園だと案内するんだか案内されるんだか……。

そうそう啄木さんだが、石川さんがこんなに函館と懇意だったとは知らなかったナ。

どこにも観光名所とは違ったイ場所があるものだ。心休まるお茶漬けサラサラのスポット。産業道路・美原交差点から赤川方面に入る。町名が美原4丁目から赤川1丁目に変わり、更に進む。函館の水瓶水道局低貯水所は桜の名所。赤川中学校横を更に行くと茅葺きの函館きっての古い家屋（市の広報に載っていた家・最近、解体されてスペインへ渡り、かの地で建て替えられる模様）。赤川小学校はジス・イズ日本の学校って感じの工感の小学校だった。というのも2年程前に改築されてしまった。味もシャッキリもない学校に

なってしまった（最後の年の運動会は感動的だった）。どうして古い校舎を残さなかったのか？グチ。

小学校前の信号を渡って右手に行くとダムがあり春から夏にかけて市民の憩いの場所って所。春は桜、夏は涼を求めて飯盒スイサン、バーベキュー……。砂漠の街・東京やその他の都市の住人には想像もつかないこのノンビリ具合。横のゴルフ練習所は全国どこも一緒といった、この混ざり具合もいい。元へ戻って更に進むとやがて赤川三島神社がある。小さな祠なので、うっかりすると見過ごす恐れあり。正徳4年（1714年）南部・上山（神山）村から分社とある。大山〇神、伊那岐神、伊那那美神を祭っている。9月2日、4月3日大祭。更に2キロ程進むとダム公園があって、ダムでこの道は突然終わりになる。この道の沿道はどこにでもある古き良き時代のニッポンの田舎の匂いがする。

茅葺きの家がチラホラあったり、どの家も沿道沿いにいっぱい花を植えているのがいい。

歴史の街、名所旧跡の街、異国情緒の港街、函館。ハレがましい函館で見つけた赤川村はチョッピリ、一昔の故郷の村を感じさせてくれる所だった。

助教授
赤松 潤



◎志苔館について

宮本 昌和(2年)

1442年以前の函館は、アイヌ人が本州人と比べて多かったのあまり問題は起きなかった。しかし次第に本州人の移住が増え1442年安東氏が南部氏の圧迫に遭い、青森から道南に逃亡してからアイヌとの間に摩擦が生じる様になった。この頃のアイヌ人の生活はまだ狩猟採集生活から脱していなかったため農耕文化を持っていた本州人はアイヌ人を蔑んでいた。さらに本州人は製鉄技術も有し、志苔の豊富な砂鉄を利用し、数の観念にも疎いアイヌ人に対して当然の様に暴利で鍛冶村を営んでいたが価格や利潤の事で口論が生じ、アイヌ人を職人が殺してしまった。道南のアイヌ人はこれまでの不満を暴発させ一斉蜂起し事件の発端となった志苔館はすぐに落され、館主小林良景は城内で戦死した。昭和59年に郭内の発掘調査をした所、全国で例がないほどの大量の古銭が発掘され、その古銭の大半が中国銭である事から日本海をまたにかけた海の豪族とも言われている。

函館食べ歩き

「和食処 八よし」



函大生・教職員御用達のお店はここ、和食処「八よし」。開店7年目で、元気なご夫婦がやっている。店の中はというと「和」の雰囲気があり、明るく落ちついていて。小上がりがちよとした会合にも利用でき、おいしい料理とはずんだ会話で楽しい時間を過ごせること間違いなし。週に3回来る先生もいるとか……。忘れちゃいけない唐揚げ定食（900円）は絶品！いい油でふわっと揚げているからもたれないし、特製スパイスが効いていて味もグー。なんてったってボリューム満点。女性に人気なのが八よし膳（1400円）。小鉢が飾り棚に色々のってきてお洒落な演出がにこい。その中の一品で、名物しんじょ揚げが目玉を引く。えびのすりみにモチを入れユバで包んで油で揚げている。単品でも食べられるのでどうぞ（600円）。他にもカツ丼や生姜焼き定食、そばもある。まさに、和食処ここにあり。満腹・満腹お腹をたたいて、また来よう。

総務課 小林さとみ

「喫茶ビーバー」



大学から歩いて一番近いお店。朝10時から夜10時までやっているの学生も我々も助かる。夫婦で仲良く？やっていると、実に家庭的な喫茶＆レストラン。学長もときどき出現する……。

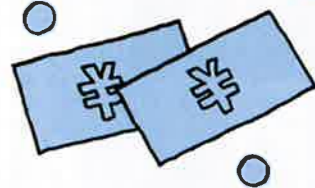
マスターはおもちゃ屋さんからの脱サラで、店をやっている、本学園の調理師専門学校夜間コースで調理師免許を取った努力家なのだが、店の切り盛りはママの存在が大きい。メニューは若者男女だれでも楽しめる軽食から本格的料理までが並んでいる。特大のエビフライ（1500円）、中華やきそば（980円）などがおすすめ。どれも、街で食べると倍近くするのは、と思わせるほどうまい。学生には安くてボリュームの学生ランチが人気（480円）。夜は気取ってハンバーグセット（1200円）、牛ヒレステーキ（800円）などもいいが、懐と相談。外観は喫茶店みじな顔をして、実は本格的なレストランなのである。

総務課 黒澤 幹生

The Money

三井生命保険函館支社

飛田 守



ご存知ですか？生命保険のお得な「ボーナス払い併用制度」

大切なボーナスの活かし方について、皆さんさぞ知恵をしぼっていらっしゃるでしょう。私がまずおすすめしたいのが、実は意外に知られていない「生命保険のボーナス払い併用制度」です。この制度は、毎月払い契約と年二回のボーナス払い契約をセットにしたもので、それぞれの保険金額は自由に設定することが出来ます。メリットは、なんといっても月々のご負担が大きく軽減されること。さらに、ボーナスでは六カ月ぶんの保険料を一括してお支払いいただきますから、保険料に所定の割引がきます。

こんなにお得！生保の貯蓄保険

また、もうひとつ強調したいのが、生保の貯蓄保険の税金面でのお得さです。五年以上預けた生保の貯蓄保険の場合、五十万円までの利子は一時所得扱いとなり非課税になります。同じ額を同じ金利で預けたとしても、税金のあるなしで手取金が大きくちがってきます。金の当座です。金利の自由化時代を迎えて、ともすれば金利の数字ばかりに目が行ってしまいがちですが、この辺に大きな盲点があるといえるのではないのでしょうか。

健康相談室

中島 俊雄
中島胃腸科内科クリニック



1951年函館生まれ
函館ラサール高校・札幌医科大学卒業
元・市立函館病院消化器科医長
1987年函館湯川町に中島胃腸科内科クリニック開業

HEALTH

考えてみましょう。ストレスとのつきあい方

世の中の動きがますますあつたしくなっていくような気がする。昨今、私のところからいっしょにやる方の中に、あきらかにストレス性の胃腸障害である方が増えています。OLの方であれば、OA機器によるテクノストレスから、眼精疲労や肩こり、頭痛を訴えるケースが多いのです。みなさんのまわりを見ても、たとえば肩こりに悩んでいる女性が必ずいらっしやることでしょう。昔は若い娘さんがこんな肩こりになつたかなあ、などと思っていました。ひどくなると、不眠症に

なったり、ウツ症状にまでエスカレートしていきます。また、まさに現代的な傾向ですが、腹痛を訴えるお子さんの中にも、原因がストレスでしかありえない場合が多くなっています。朝、学校に行くとうるさく急におなかが痛くなる、という具合ですね。からだにはどこにも異常がないのですから、私としても治療のしようがありません。そこで、カウンセラーのように家庭や学校での生活のことを聞き出して、アドバイスなどをするようになります。

ストレスがすべて悪いわけではない

もともと、ストレスがすべて悪者なわけはありません。適度なストレスは、緊張感となつて仕事や勉強の能率を上げてくれるでしょう。問題はつきあい方です。お子さんのケースで言えば、過保護な子育ては、ストレスにたいする抵抗力を奪ってしまうことになります。つらいことに対する精神的な免疫力がないと、たとえささいなことでも、その人にとってはとんでもない重荷になってしまいます。人間に考えたり喜んだり悲しんだりする能力がある以上、どのみちストレスから逃れる方法はありません。生活にストレスはつきものなんだとしっかりと理解しながら、自分なりの解消法を身につけるなどして、ストレスに打たれ強くなる必要があります。

ハワイ・パシフィック大学 副学長が来学

さる4月14日～15日、姉妹校であるハワイ・パシフィック大学の副学長ジョン・フレックス氏が来学しました。本学の学長への表敬後、本学に留学中のジェラマイア君との再会を喜ばれました。

次いで国際交流委員会メンバーと姉妹校提携に関する条項の整理、見直し等の討議の後友好的な懇談が行われました。席上、フレックス氏から更なる交流促進のため「本学の教授にハワイで講義をしてもらいたい」との提案もあり、日本人講師による授業の意義について「国際的に活躍する日本の経営の実践を学ぶ良い機会となると思う」と話されていました。また、「夏休みや冬休みに6週間程度の短期集中講義も計画出来る」との提案もあり、本学としても前向きに検討したいとして、懇談を終了し、16日別れを惜しみつつ帰国の途につかれました。



公開講座

大学開放の一環として地域との密着を図り、生涯教育に対する社会的要請に対処すべく、関係機関や、学園各校のご協力も賜りながら始まった、本学の公開講座も開始より九年を経過しようとしています。本年度実施（予定）終了時で延べ五十一回を数えることになりました。

今年度は次の六講座を開催しました。



講座名	日程	受講者
国際コミュニケーション講座	7月2日	112名
やさしい英会話講座	8月25日～27日	26名
スポーツ医療講座	11月12日	57名
市民教養講座	11月18日	23名
文化講演会	12月3日	412名
市民教養講座	1月末予定	—



●国際コミュニケーション講座は「英検二級と準一級のレベル差について」と題して、本学の高校教授が、英検準一級以上には高校までの教科書に載っていない色々な表現の問題があり、しかしそれは英米人の口には頻繁にのるものであるとして、事例を交えながら日本人の英語学習者の壁について講義された。次いで、国際電信電話（KDD）のインストラクターによる「国際電話の知識と英会話」の研修が行われました。

●やさしい英会話講座は、中学の英語教科書を読める程度の受講生を対象として本学の高校教授とB・ダップ講師により三日間にわたって開かれ、最終日は修了証書授与の後ティーパーティーが行われ三日間の講座をふりかえりややかなひとときを過ごしました。

●スポーツ医療講座は、プロ野球チームや実業団チームのトレーニングプログラムの作成している、日本ノーチラス（株）の羽田雅弘氏を東京より招いて、「ゴルフのためのトレーニング」と題してシーズンオフの体力づくり及びケガ防止のためのトレーニングについて、実技指導をしながらセミナー方式で講演をされ、市内のゴルフ愛好者が熱心に受講され、好評でした。



●市民教養講座第一弾は「欧米諸国の労働時間事情とわが国中小企業の時短」と題して、本学大江田助教による講演でした。欧米諸国の労働時間の実態を多面的に分析し、函館地区の企業における実情を踏まえた労働時間の短縮に有効と思われる諸施策の提案がなされ、ミーティング方式による活発な意見交換がありました。

●文化講演会は元Fリーグで現在PIAAレーシングチームの監督をされている中嶋悟氏をお招きし、「安全運転の極意」というテーマで講演をして頂きました。四〇〇余名の聴衆のもと、レーサーとしての体験の中で培った安全運転のテクニックについて披露され、次いで、聴衆からの質問も受け、「仲の良いドライバーは？」との質問に、「勝負の相手に友達はいない」とプロの世界の厳しさをキツパリ話されたことが印象的でした。最後は講演者に、盛大な拍手が送られました。

●市民教養講座第三弾は一月に「家族と女性の社会生活史——中世から現代へ」と題し、本学坂田助教によって行われる予定です。

企業派遣講師交代案内	部局長・室長・委員長
旧鈴木 邦彦（東京海上火災保険株式会社）	教務部長 永盛 恒男
新田上 寛（東京海上火災保険株式会社）	学生部長 溝田 幸夫
旧越後 邦彦（北海道銀行）	就職部長 新谷 幸彦
新桜田 清光（みちのく銀行本店）	図書部長 大野 典彦
旧角田 和明（山一証券株式会社）	電子計算室長 河村 博旨
新長尾 一史（山一証券株式会社）	経営研究所長 大野 和雄
旧望月 弥平（三井生命保険相互株式会社）	教務委員長 永盛 恒男
新下澤 正彦（三井生命保険相互株式会社）	学生委員長 溝田 幸夫
●昇任・昇格	就職委員長 新谷 幸彦
若松 裕之（専任講師）	図書委員長 大野 典彦
西村 淳（専任講師）	電子計算室長 河村 博旨
坂田 聡（専任講師）	経営研究所長 大野 和雄
	入試委員長 高橋 喜美夫
	国際交流委員長 松 喜美夫
	公開講座実施委員長 大江田 清志

盛況のうちに終わった地区懇談会

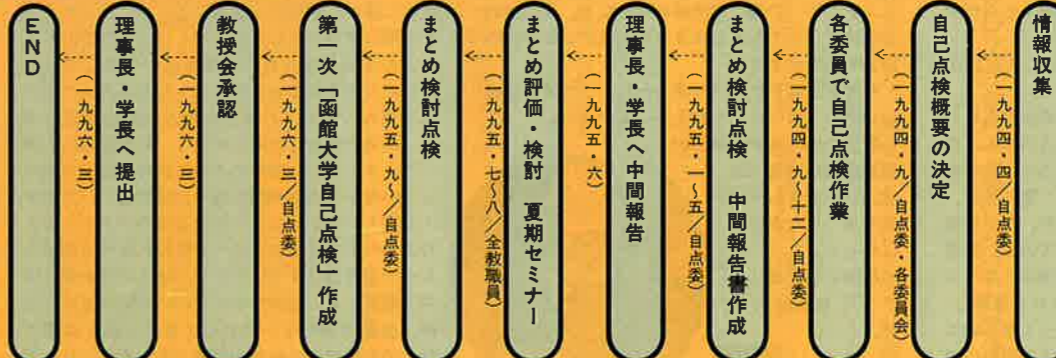
この懇談会は、協学会最大の行事として行われるもので、多数の教職員によって、大学の近況説明あるいはご子弟の学業状況についての個別面談も行います。また、参加者相互の情報交換も行われるなど、大学に有意義なものとなっています。

●平成六年度地区懇談会日程

函	館／7月17日（日）	ホテル函館ロイヤル
室	蘭／7月18日（月）	ホテル・サンルート室蘭
旭	川／7月19日（火）	旭川ターミナルホテル
札	幌／7月20日（水）	札幌第1ワシントンホテル
帯	広／7月21日（木）	帯広東急イン
釧	路／7月22日（金）	釧路東急イン
青	森／7月19日（火）	青森国際ホテル
盛	岡／7月20日（水）	ホテルロイヤル盛岡
東	京／7月21日（木）	東京ガーデンパレス ※1・3年次のご父母のみ
	7月22日（金）	東京ガーデンパレス ※2・4年次のご父母のみ
大	阪／7月23日（土）	桐杏学園

自己点検委員会が発足

本学のさらなる発展と充実のために、去る四月、自己点検委員会が発足しました。一九九六年の三月に、第一次「函館大学自己点検」の公表が予定されています。



硬式野球部
監督 宮藤 泰直



全国めざして冬期トレーニング中！

創部は、函大の創立と同じ一九六五年。北海道六大学リーグに所属し、現在部員は三十三名（四年生を除く）です。九四年の戦績は、春季リーグ三位、秋季リーグ二位。一九七八年と八八年には、全日本への出場権を獲得しました。もともと二回目の時は、昭和天皇のご病氣のために直前になって大会が中止され、非常に残念な思いをしたのですが、チームのモットーは、「和」の全員野球。私は、学生野球とは、全員が勝利というひとつの目標に向かって同じ努力を重ねていくことだと考えています。ですから、一年生は球ひろいというのではなく、みんなで同じ練習をします。キャプテンは上級生の合議で選出、遠征メンバー全部員の投票で決めます。たとえどんな選手でも、かならず一度は公式戦に出しますし、相手をぜったいにヤジらないというのも徹底しています。もちろん、その前提にあるのは、一人一人が自覚を持った大人の選手になってほしいと願うからです。ただの仲良し練習では、勝てるわけがありません。九五年のシーズンから、全日本大学野球選手権大会への北海道の出場枠がふたつに増えます。冬期トレーニングに、いつにも増して熱が入っています。

卓球部



創部は、創立の年、一九六五年。九四年の戦績は、全日本学生卓球選手権大会北海道予選大会でダブルスひと組が全道三位を獲得、全国大会へ出場を果たしました。この全国大会へは、今年で三年連続の出場となります。団体戦では、春季リーグ一部の三位。秋季リーグは、二部へと降格してしまい、「春にはなになんでも一部復帰！」を合言葉に猛練習を積んでいます。メンバーは、函館やそのほかの道内、神奈川、東京と、全国から集まっています。卓球は基本的には個人競技です。練習は、ビデオなども駆使しながら、一人一人が課題や目標を持って、独自に取り組みます。先輩や監督から強制されることはほとんどありません。自分を強くしてくれるのは、結局は自分しかないのですから。たもちろん、部としてのまとまりは必要です。特に一部復帰を果たすためには、みんなで熱くひとつに燃えていこうとも話し合っています。監督からは、勉強の方も決しておろそかにするな、といつも言われています。勉強あつての学生ですから。おかげで先輩たちは、みな納得の行く成績と就職を果たしています。

写真部



現在の部員は六名。それぞれが自分なりに自由な方法で好きな作品を撮っています。発表の場としては、文化局祭や大学祭など。視聴覚室を使って、スライドの上映会を開いたりします。こんど喫茶コーナーにも作品を掲出させてもらうことになりました。ぼくが最初に写真を撮ったのは、小学校四年生のとき。父がくれた中古のバカチョンで、もっぱら鉄道写真を撮っていました。高校のとき写真部に入って、本格的に撮り始めました。いろいろな人の暮らしのひとコマを狙うという感じで、コンクールにもけっこう入選しました。函大に入るとまよわず写真部へ。東京で生まれ育ったぼくにとって、北海道の大自然は被写体として実に魅力があります。大雪や知床に撮影旅行をしたのは、ほんとに楽しかったなあ。

カラーのプリント機材が入りました！

ローターアクト部



私たちは、大学生の立場で、福祉や社会活動を実践している集まりです。大学生の立場で、という意味は、まず行動を大切にすること。お金を持っている人がお金だけ出すのは、ある意味で当然だと思います。私たちのモットーは、自分の力で努力を積極的に提供することにあります。具体的には、まちの清掃、寄付金づくりのための大学祭でのバザー、老人ホームや障害を持つ方の施設の訪問、植樹、道内の他大学との交流など。ロータークラブとのつながりで、各界のさまざまな方と接する機会もあり、いろんな意味でとても勉強になります。福祉といっても、特別に構える必要はないと思います。ようは自分に何ができるかを考えて、それを行えばいいのですから。ただ、実際に行動を起こすときに、やはり壁があると思います。先日、自閉症の子どもたちと接する機会がありました。子どもたちの中に入ってみると、正直言ってどうふるまえばいいのか、わかりませんでした。うわべのやさしさや勇気の前に、ちゃんとした知識や認識が必要なんだと考えさせられました。福祉を通して社会を見ることは、自分を見直すことでもあると思います。

体育クラブの主要成績

【硬式野球部】

北海道6大学野球秋季リーグ戦
(8月30日～9月6日)
準優勝
平成6年度北海道6大学野球春季リーグ戦
(5月6日～5月9日)
1部リーグ3位(2勝3敗)

【ハンドボール部】

第21回北海道学生ハンドボール春季リーグ戦兼東日本インカレ北海道選手権大会
(5月18日～23日)
1部リーグ優勝(5戦全勝)
※東日本インカレ出場
東日本学生ハンドボール選手権大会
(8月8日～12日)
ベスト8
第26回北海道学生ハンドボール秋季リーグ戦(10月5日～9日)
優勝(16連勝中)
函館大学 35(14-10) 22 小樽商科大学
(21-12)
34(16-11) 20 道都大学
(18-9)
53(22-6) 12 北海学園大学
(31-6)
39(17-11) 23 札幌大学
(22-12)
37(15-11) 23 北海道大学
(22-8)
※全日本インカレ出場

【柔道部】

正力杯北海道学生柔道体重別選手権大会
(5月29日)
60kg石本育男(2年)3位

【硬式庭球部】

北海道学生選抜テニス選手権
(6月27日～7月1日)
相場栄樹(3年)3位

【軟式庭球部】

春季学生ソフトテニス選手権大会・大学対抗リーグ戦(5月26日～29日)
団体1部リーグ2位
秋季学生ソフトテニス選手権大会・大学対抗リーグ戦(8月19日～22日)
団体1部リーグ2位
男子個人 田中和之(2年)
三本木崇(1年)3位

【剣道部】

第40回北海道学生剣道選手権大会
(5月～14・15日)
高田 悟(2年)優勝
田中敬三(1年)3位
岩谷礼智(4年)8位
※以上3名が7月3日の全国大会に出場(高田・田中は3名までの選手による東西対抗戦に出場)
全日本学生剣道選手権大会(7月1日～4日)
高田 悟(2年)3回戦敗退
田中敬三(1年)3回戦敗退
岩谷礼智(4年)1回戦敗退

【バスケットボール部】

北海道学生バスケットボール春季選手権大会(6月24日～29日)
3回戦で北星学園大に65対96で敗れ、ベスト8進出ならず

【サッカー部】

北海道学生サッカーリーグ
3部リーグで優勝 来期2部リーグ昇格

【ラグビー部】

北海道学生ラグビーリーグ
1部リーグ

【卓球部】

平成6年度春季全道学生卓球選手権大会
(5月13日～15日)
団体1部リーグ3位
個人シングルス 松尾 純(2年)3位
全日本大学対抗大会道予選兼会長杯争奪大会(6月24日～26日)
男子ダブルス 松尾 純(2年)
石岡達也(1年)3位
全日本大学対抗大会北海道予選兼幹事長杯争奪大会(8月13日～15日)
団体函大Bチーム3位
ダブルス 花谷直史(3年)
篠宮幸司(3年)3位
※全国大会出場

【バドミントン部】

北海道学生バドミントン春季リーグ戦大会
(4月24日～27日)
1部リーグ2位
※全日本インカレ出場

【バレーボール部】

北海道大学男女バレーボールリーグ春季大会(5月3・4日)
4部リーグ優勝(4勝全勝)
北海道大学男女バレーボールリーグ春季大会3部入れ替え戦(6月10日～13日)
函館大学 2-1 釧路教育大学 3部昇格
北海道地区大学体育大会(7月9日～11日)
3位

【アルティメット部】

全日本学生アルティメット選手権大会
(8月8日～10日)10位

文芸マガジン
「作士(SAKUSI)」

●軟式文芸部

平成四年十一月、卒業を目前にした当時の四年生を中心に五人で本を作ってみようというきっかけでスタート。「書くメディア」なら何でも可ということで作品を持ちました。「SAKUSI作士」という誌名で、小説・詩・まんがなどを中心に、数名の協力者とともに平成五年三月に発行。平成六年、新しい同人を迎えて二号を作るとともに、これからも続けて行こうと、OB、一般、学生のすべてが参加できるサークル「軟式文芸部作士(SAKUSI)」として活動を始めました。平成六年三月、同二号発行。前作のような内容に、エッセイ、紀行文などを加えて広がりをもった内容に。また、四月からは、大文堂函館大学書籍部の店頭において、一部七百元にて販売も行いました。そして現在は、名誉会長一名、一般会員五名、学生会員十名の正会員をもつサークルとして、三号の発行にむかって執筆中です。



函館短期大学



事務局長
村木 永親

道南唯一の食のスペシャリスト養成校

函館大学の南に隣接する函館短期大学は、一九五三年、現在の函館大学の前身となる函館商科短期大学として開校。七四年から、今日の食物栄養学科のカレッジとなり、以来、道南唯一の食のスペシャリスト養成校として、栄養士を中心とするたくさんの人材を、北海道・本州・東京方面に送り出してきました。

学科は、栄養士をめざす栄養士コースと、教員（中学校教諭免許「家庭」）や簿記、秘書などの資格取得をめざす生活教養コースとからなり、各コースに進むのコンピュータ教育を取り入れながら、多様化、専門化する社会の要請に応える実践力を持った人材の養成に取り組んでいます。また、特徴としているのが、付設の調理師専門学校との授業も受けることができる「ダブルスクール」制度です。

これは、短大の講義を受けながら夜間に調理師専門学校の授業を受けることができるもので、学費と時間を節約しながら、卒業と同時

時に栄養士と調理師のふたつの資格が獲得できるもの。野又学園ならではのこの制度によって、「ハードだったけれど、がんばってよかった」という卒業生のはずむを毎年聞くことができます。

ひとりひとりの資質を見定めて

自立したひとりの人間としての、思いやりとやさしさ……。函館短期大学がめざす人づくりには、知識や技術の前に、まずそうしたところが尊重されています。アットホームな校風の中で、ひとりひとりの資質や個性を尊重しながら、人間的にも大きく魅力あふれる人材を育てていきたいと願っています。SL (Single Life・真摯なる生活) と呼ぶ教養ゼミナールでは、独自の特別指導担任制度の中で、学生と教員、学生同士の交流を深め、互いの自己啓発につながる価値ある時間を持つことをめざしています。また、男性栄養士の社会的ニーズが高まっていることから、現在一割程度の男子学生を、今後増加させていくことも検討しています。



ZOOM IN キャンパス CAMPUS



食堂・喫茶コーナー

函大の元氣製造所

お昼になれば大のにぎわいを見せるのが、食堂と喫茶コーナー。食堂は、二二〇席で、一八〇円のかけそばから四五〇円の定食まで、栄養とボリューム満点のメニューがうれしいプライスでたっぷりそろっています。特に自炊生活をおくる学生には食生活の頼もしいパートナーという感じで、遅めの朝食や早めの夕食に利用している人もかなりの数にのぼります（営業時間午前十時～午後四時）。

日替わりメニューも豊富ですから、毎日食べてもあきません。料理長は、「やっぱりカツ系統のものが基本ですね。ホントは野菜とか魚を使ってもっといろいろバリエーションを出したいと思うのですが、試食デーを設けて様子を見てみると、定番の焼き肉とかカツレツの方が受けてしまったりするんです（笑）」。

ランチの気分を変えたいときには、喫茶コーナーがあります。こちらは、まちの洋食屋さんという感じで、日替わりのランチのほか、ハンバーグ、ピラフ、カレーなどが充実しています。食後のコーヒーもなかなかのもので、食堂・喫茶コーナーは先生たちもよく利用しますから、講義以外の学生と教員の気軽な接点ともなっています。このあたりに、親密でまとまりのよい函大の校風の由縁がありそうです。



一日一回は立ち寄る場所

教科書や専門書はもちろん、就職の問題集・マニュアル本からマンガやベストセラー、雑誌まで、必要な本がばっちり揃った便利な書店です。キャンパスの中にあるというのがうれしいところ。みんななんとなく一日に一度は寄ってしまいます。学生ホールと続いているので、自然に足が向くのです。全品五％の割引（消費税がないので実質は八％OFF!）で、ノートなどは特価品で三〇～五〇％のOFFがありますから助かります。

「最近では、シドニー・シエルダンのものや五木寛之の『生きるヒント』などが売れていますね。函館市外から来た学生さんのために、函館ウォーカーズ・マニュアルなどという本もロングセラーです」と店長。「ここでCDの予約をするという特典がついているし、一、五〇〇円で五〇円ぶん得する買物券も魅力！」と常連。とにかく、キャンパスライフに欠かせない存在です。

書籍・大文堂



函大精神は、人生の経験とともに深くなる

函館大学同窓会会長
高橋 勝美
(函館マツダ (第一回卒))



広報誌の創刊号ということで、今回は函館大学同窓会の歩みと活動をお知らせしたいと思います。

本同窓会は、一九六九年、初代会長である飯田石勝氏(第一回卒・女子商勤務)によって結成されました。翌年、第二代会長に大山紀明氏(第二回卒・本学勤務)が選出されました。一九七〇年に故野又学長先生の「古希を祝う会」を主催し、七三年には野又学園の全同窓会の主催によって、学長先生の「叙勲記念祝賀会」が開かれました。一九七八年、野球部が念願の全国大会出場を果たした際には、第三代会長松倉清治氏(第一回卒・松倉組)を中心に広く資金カンパをさせていただくことができました。こうして大学ならびに学生諸君への各種の援助と激励、会員相互の親睦を深めながら、九一年には二十周年記念式典を行い、九三年には、見上武氏(第一回卒・術武州不動産)から私に会長職が移つ



た次第であります。現在会員は、約四千七百名。札幌と旭川、東京に支部があり、いま大阪に関西支部を開く構想をあたためているところです。近年の主な活動としては、大学祭への協賛と資金援助、クラブや学友会誌づくりなどの援助、卒業式での卒業生への記念品贈呈(近年はネクタイピンとカフスボタンのセット)などがあげられます。また、九五年早々の発行をめざして、同窓会新聞を準備しております。同窓会名簿は、五年に一回程度の間隔で制作しており、次の発行は、九五年の秋となります。

一 回生として思うこと

思えば、私が巣立った一九六九年は、十勝沖地震で校舎に大きな被害があった翌年であり、約九十名の卒業生は仮校舎で晴れの卒業式を迎えたのでした。そうした意味でも決して忘れることのできない卒業となりました。私の函大生活は、サッカーに明け暮れたといっても過言ではありません。当時は今日のリーグによるサッカーブームなどはありませんが、一九六八年のメキシコオリンピックで日本が見事銅メダルを獲得し、今とは違うサッカー熱が社会に広がっていたという感じがしました。ビジネスマンになつてからも

サッカーとのつき合いはつづき、現役を引いた今では、縁あって函館大学サッカー部の監督をさせていただいております。サッカーからは一生足を洗えないものだと考えております。卒業して二十六年。今思うと学生時代は、何事も恐れずただ前につき進もうとしていたように思われ、微笑を禁じえません。しかし、函大精神とはそんなところにあつたのではないかとも思い、年齢を重ねることで忘れがちなそうした精神の大切さを、日々痛感するこのころでもあります。



29ページのクイズの答え
答へ・アルファベット3文字の略語になるもの
USA・SFX・FAX・IOC・PKO

函大と父母の皆様を結んで

函館大学協学会会長
川越 耕吉
(川越電気商会(株))

るわけです。出席の方からは、函館大学がどういうところがわかって良かったという声もいただき、開催のたびに、われわれもその意義を確認している次第です。おかげさまで、近年にいたってますます参加して下さる方が増えております。また、都合で会場にお越しただけの方のためにも、年に三、四回程度、協学会便りを作って郵送させていただきます。さらに、市外の方は、ぜひ一度函館にお越しください、キャンパスまで足をのびしてくださることをおすすめします。

協学会は、いわば大学と学生さんの父母を結ぶきずなです。親御さんはよくおっしゃいます。うちの子は大学でいったい何をやっているのでしょうか？ ちゃんと有意義な学生生活をおくっているのでしょうか？ 特にお子さんを手元から離れている函館市外のご両親であれば、なおのこと。そうした不安や疑問にお応えしようと、協学会では、現在毎年十カ所地区懇談会を開いています。会のメンバーと数名の教職員の方が、函館大学の現状を伝え、ご両親からの質問などにお答えす



す。ご承知のように、函館は全国でも屈指の観光都市であります。お子さんといっしょに函館山からの夜景を見て、異国情緒たう元町を散策すれば、すばらしい時間を過ごすことができるものと確信いたします。

大学は、一生の友を見つける場所

私は、学友会誌に載る、卒業生の作文を毎年楽しみにしております。そこでは、ほとんどの学生さんが、大学での四年間のできごとを、友との出会いをもとに書き起こしています。当然のことながら、大学は、ただ入って出るといふ場所ではありません。そこで何を学び、何を学んだのかが重要です。そして、もしそこで一生の友や恩師を見つけることができたなら、これにまさる価値はないのではないのでしょうか。モノやお金の価値ばかりがもてはやされるような世の中では、友と出会う場所も限られてきます。だからこそ、ともに学び、スポーツに打ち込み、議論に熱中することのできる大学生活の大切さがあると思うのであります。

今後とも、函館大学と父母の皆様、函館市、学生さんをさらに強い絆で結ぶべく、末永いお手伝いをさせていただきたいと願っております。

投稿コーナー 百葉箱

松浦 孝次さん (東京府立大)

我が青春の恩師
もう四十年も前の夏になるか、中二の担任の先生のところへ友達四人で遊びに行つた。図工の先生で暑くなるとランニングにジーパンで授業をし、履いている木のサンダルの方々にマジックで「左」と大書して、左も右も左だ、ワッハッハッと笑っている。そうです、先生の名前は左(省吾)といひます。

井上 能孝さん (非常勤講師)
秋の日の 遠山近し 心の師
中村 大祐さん (二年)
夏暑しビールがうまい腹が出る
筆村 美奈子さん (亀田町)
ある・なしクイズ(レベル5)
●ある ニューヨーク
アメリカ合衆国 逆効果
特殊効果 コピー
ファクシミリ 学級委員会
オリンピック委員会 町内活動
国連平和維持活動
(答えは28ページ)

●たくさん作品をお寄せいただき、まことにありがとうございました。
●誌面の制約上、全てを掲載できないことをご了承ください。
●第二号へも、またふるってご投稿ください。
●尚、掲載作品一点につき千円相当の図書券を進呈させていただきます。